

平成27年度

福知山市教育委員会

点検・評価報告書

(平成26年度施策・事業対象)

平成28年 2月

福知山市教育委員会

目 次

1	はじめに	1
2	平成26年度での教育委員会事務点検・評価委員の意見・助言を踏まえて	2
3	平成26年度の取り組み状況（概要、学力、いじめ、不登校）	2
4	教育委員会議、協議会の開催状況	7
5	教育委員会議での審議状況	7
6	教育委員会議以外の活動	13
7	教育委員会議の評価	14
8	施策の取組状況評価	15
	（1）点検・評価の対象	15
	（2）点検・評価結果の構成	16
	（3）教育委員会事務点検・評価委員の意見・助言等	17
	（4）評価の結果（重点項目に対する評価）	
	① 基本的な人権の尊重を基盤とした、一人一人を大切にされた教育を進める。	18
	② 「保幼小中一貫・連携教育〈シームレス学園構想〉」の一層の充実とその成果（確かな学力・生徒指導・進路）の普及を図る。	21
	③ 基本的な生活習慣や社会の決まりを身に付け、身近な人々と協力し助け合う態度を育てる。	23
	④ 自ら安全に行動し、他の人の安全な生活にも貢献しようとする意欲と態度をはぐくむ。	24

- ⑤ 学校と地域社会との連携を深め、地域社会の知恵と力を活かした教育環境づくりを進める。 2 5
- ⑥ 学校図書館機能を充実し、よりよく課題を解決するための利用や主体的な学習活動、読書活動の充実を図る。 2 6
- ⑦ 「家族だんらんの日」の趣旨を中心に据えて、すべての教育の出発点である家庭教育の支援を地域社会と連携して推進する。 . . . 2 7
- ⑧ 市民の声が響き合う社会教育事業と学社連携の推進を図る。 2 9
- ⑨ 児童が安心して生活できる放課後児童クラブの健全な運営及び、子ども・子育て関連3法の改正に伴う、全クラブでの6年生までの受け入れ実現に向け、環境整備を図る。 3 0
- ⑩ 生涯各期を見通して実践してきた様々な人権問題の今日的状況を踏まえ、多面的な視点からあらゆる機会をとらえ、研修・啓発を進める。 3 1
- ⑪ 埋蔵文化財の保護を図って、歴史・文化の普及啓発を進めるとともに、歴史的な町並みや景観の保全と活用に向けた調査・研究を進める。 3 2
- ⑫ 公民館活動を通じ、地域における環境等の現代的課題や地域的課題への取組みの推進と子どもの健全育成を促進するとともに、「市民交流プラザふくちやま(愛称`ききょう`)」を中心とした様々な生涯学習活動・市民協働・地域活動等を促進し、地域に活気と賑わいをもたらす拠点施設としての位置付けに基づき、様々な施策を展開し、積極的な事業展開を図る。 3 4
- ⑬ 市民の生活、学習、文化を育む拠点施設として新図書館中央館を開館し、図書館サービスの充実と、福知山駅周辺を舞台に人と情報が出会い、交流する「まちと人、人と人をつなぐ」交流空間を創造する。 3 6

(5) 評価の資料		
「教育の重点」の施策方針に対する取組状況	・・・・・・・・・・	37
【平成26年度教育委員会事業実施状況】		
8 平成26年度の新規事業	・・・・・・・・・・	64
9 平成25年度をもって廃止した事業	・・・・・・・・・・	67
10 おわりに	・・・・・・・・・・	69
11 資料		
(1) 教育委員会組織機構図	・・・・・・・・・・	70
(2) 教育委員会事務分担表	・・・・・・・・・・	71
(3) 福知山市教育委員会事務点検及び評価実施要綱	・・・・・・・・・・	72

1 はじめに

福知山市教育委員会では、教育行政の充実を図るとともに市民への説明責任を果たすことを目的として、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、平成26年度の教育委員会の事務事業を「平成26年度福知山市教育の重点」に示す学校教育の重点6項目と社会教育の重点7項目について教育的な視点に立って点検・評価を実施し、本報告書を作成しました。

本報告書の作成にあたっては、前年の点検・評価と同様に教育委員会事務点検・評価委員のみなさまの意見・助言をいただきました。

これは、これからの教育委員会のあり方を問われているものであり、市民の信頼を高め、開かれた教育行政を推進していくことを強く求められているものです。

この点検・評価結果を教育行政の効果的推進に向けて、教育行政全般において各々の事業がもつ位置づけや目的、事業のあり方などを意識しながら、今後の教育行政の推進に適切に反映させていきたいと考えております。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律〔抜粋〕(平成20年4月1日施行)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

平成26年度福知山市教育委員会委員

委員長 倉 橋 徳 彦

委 員 瀬 田 眞 澄（委員長職務代理者）

委 員 大 槻 豊 子

委 員 塩 見 佳 扶 子

教育長 荒 木 徳 尚

2 平成26年度での教育委員会事務点検・評価委員の意見・助言を踏まえて

【教育委員会事務点検・評価委員の意見・助言】

- ・福知山市の教育で特筆すべきものをもっと明らかにし、学力、いじめ、不登校問題など市民の関心が高いと思われるものについては、より丁寧な説明が必要である。
- ・説明責任があると言いつつも「達成できたと思う。」では説得性に欠けるので、データや目標値を示すなど客観的に評価できる工夫をすべきでないか。
- ・行政用語や制度名など、市民に分かりづらい表現は避け、使用する場合には注釈をつけて分かりやすい内容にされたい。
- ・市民の関心や理解、連携・協力を得ていくことが欠かせないので、丁寧な説明とわかりやすい広報に努められたい。

平成27年度（26年度対象）の教育委員会点検・評価に当たっては、これらの意見・助言を踏まえて報告書を作成しました。

3 平成26年度の取り組み状況（概要、学力、いじめ、不登校）

○市教育行政の全体像

憲法と教育基本法の理念に基づき北近畿をリードする創造性あふれるまち福知山の実現に向けて、活力と潤いのある未来をつくるため、社会変化に対応できる調和のとれた、心豊かな人づくりを目指しています。そのためには、未来を担う子どもたちが目標を持ち、自ら学び自ら考え、夢に向かってたくましく生きていくためのよりよい環境を最優先に考えて整備し、確かな学力、豊かな人間性、健康や体力の増進などの「生きる力」の育成と生涯学習の積極的な推進を目標に、学校教育と社会教育が緊密な連携を進め、家庭・地域社会・学校の実態に即して、中長期的な展望に立った特色ある教育活動で、「教育のまち福知山」を創造していかなければなりません。

【教育のまち福知山】

「教育のまち福知山」という言葉は、昭和50年代のはじめ、本市教育委員会が展開した「こだま教育運動」の中で生まれた。この運動は、家庭、地域社会がそれぞれの役割・責任を自覚し、互いに高まりあおうとする心がこだましあって教育を尊ぶ気風のあるまちの創出をめざしたもので、「響育(共育)運動」といえるものであった。今もその精神は生きており、教育によって学んだことを、自分の幸せや夢の実現のため(自己実現)に活かすだけでなく、人のため(他者貢献)に、社会のため(社会貢献)に活かそうとする志をもった市民が育つまち、そんな市民を育てようとする気風があるまちが「教育のまち福知山」である。

福知山市教育の基本方針

～魅力ある人とまちを創り出す教育・文化のまちづくり～

福知山市の教育がめざす教育の方向

福知山市の教育がめざす方向は、知性を磨き、特性を涵養し、心身ともに健全な自立した人間の育成、併せて人々の幸福と社会の発展に寄与する行動力を兼ね備え、新しい時代を切り開く人材の育成にあります。

福知山市の教育目標

自分のために（自己実現） 人のために（他者貢献） 世のために（社会貢献）
共に幸せを生きる人材の育成

○市民への広報

市民への広報は、市広報誌や市教委ホームページで情報提供を行うとともに、啓発用冊子を作成し、市民に広く配布しました。また、「家族だんらんの日」の取り組みの周知を浸透させるため、啓発用のぼりを市内の学校等関係施設で掲出したほか、各学校からも「学校だより」等を作成し学区内へ配布しました。

今後も引き続き、市民に福知山市の教育を知っていただけるように取り組んで行きます。

また、とりわけ市民のみなさまの関心が高い、児童生徒の学力、いじめの状況及び不登校の状況については次のとおりです。

○児童生徒の学力

平成 26 年度京都府学力診断テスト(小 4・概要)

実施日：平成 26 年 4 月 9 日～16 日

対象者：市内 24 小学校 4 年生 7 4 6 人

受検科目：国語・算数

実施主体：京都府教育委員会

実施目的：学習指導要領に照らした学習の実現状況の把握、ならびに結果分析により指導上の課題を明らかにして授業改善を進め、学力の充実・向上を図る。

結果概要：国語・算数において、どちらも府平均を上回っています。
各校の結果を分析し、基礎基本の徹底を図る等の授業改善を進め、更なる学力の充実・向上に努めます。

平成 26 年度京都府学力診断テスト(中 1・概要)

実施日：平成 26 年 4 月 9 日～16 日

対象者：市内 9 中学校 1 年生 7 5 5 人

受験科目：国語・数学

実施主体：京都府教育委員会

実施目的：学習指導要領に照らした学習の実現状況の把握、ならびに結果分析により指導上の課題を明らかにして授業改善を進め、学力充実・向上を図る。

結果概要：国語は府平均を上回っていますが、数学は府平均を下回っています。
中学校ブロックとして小学校と連携して結果を分析し、課題を克服するために授業改善を進め、更なる確かな学力（基礎的な知識・技能を身に付け、それらの活用により様々な課題に対応し解決できる力）の充実・向上を図ります。

平成 26 年度京都府学力診断テスト(中 2・概要)

実施日：平成 26 年 10 月 22 日

対象者：市内 9 中学校 2 年生 6 9 4 人

受検科目：国語・数学・英語

実施主体：京都府教育委員会

実施目的：学習指導要領に照らした学習の実現状況の把握、ならびに結果分析により指導上の課題を明らかにして授業改善を進め、学力の充実・向上を図る。

結果概要： 国語・数学・英語において、どれも府平均を上回っています。
各校の結果を分析し、アクティブラーニング（児童生徒の能動的な参加を取り入れた学習法）等を活用することにより授業改善を進め、更なる学力の充実・向上に努めます。

平成 26 年度全国学力・学習状況調査(概要)

実施日： 平成 26 年 4 月 22 日

対象者： 市内 24 小学校 6 年生 7 1 4 人
市内 9 中学校 3 年生 7 3 1 人

受検科目： 小学校 国語・算数
中学校 国語・数学

実施主体： 文部科学省

実施目的： 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

結果概要： 小学校 6 年生は、国語・算数とも全国平均を上回っています。
中学校 3 年生は、国語 A が全国平均と同じで、B が全国平均を下回っています。
各校の結果を分析し、それを共有し、義務教育の出口を見据えた授業改善を進め、更なる質の高い学力の充実・向上に努めます。

以上が平成 26 年度に行われた学力診断テスト及び全国学力・学習状況調査の概要です。ただ、これらのテスト結果や調査結果は、学力の特定部分を測定したこと、学校における教育活動の一側面を表出したものであるということを踏まえなければなりません。教育委員会としても、教育及び教育施設の改善や各児童生徒の全般的な学習状況の改善等に取り組むため、学校における学力の向上、充実の取組等に対して引き続き積極的な支援をします。

〇いじめの状況

平成 26 年度中に実施した京都府の 3 回のいじめ調査では、本市市立小中学校でいじめと感じたのべ人数が小学校 9 6 3 人、中学校 2 5 0 人ありました。

学校では、未然防止、早期発見・早期対応を基本としながらも、いじめ調査のみでなく、定期的に実施する生活調査、面談等を実施するなど、日頃から児童生徒や保護者の思いを把握することに努めています。

いじめをはじめ、自殺、児童虐待等子どもに関する問題が社会化していることを受けて、本市では子どもたち命の大切さを見つめ、自尊感情をはぐくみ、あらゆる暴力から大切な命と体を守るために、子ども自身がどのように行動すればよ

いかを考えるワークショップを全小学校で平成24年度から3カ年で実施しました。(26年度は、10小学校で子どもワークショップを実施)

また、各校における、いじめ防止にかかる取組を継続的に実施するとともに、学校のみならず地域や保護者との共通理解のもと、連携した見守りをしています。さらに、ネットいじめ防止をテーマにしたいじめ防止講演会、いじめ防止強調月間等を設定し、全市的ないじめ根絶の風土づくりにも取り組んでいます。

○不登校の状況

不登校総合対策事業として引き続き、心の安定基地づくり推進事業の取り組みを行いました。訪問指導員や訪問専門指導員を配置して、家庭と児童生徒、学校をつなぐとともに、適応指導教室「けやき広場」での個々に応じた指導・支援、学校との連携によって中学3年生の5人は、進学を果たすことができました。

人数、及び出現数は、下記に示す通り、中学校における不登校生徒数は前年と比較し若干減少しましたが、小学校では微増しており、引き続き、学校復帰や進路展望が拓けるよう、関係者が連携を密にして個々に応じた支援をしていきます。

また、複雑で専門的なケースが増えている教育相談では、福祉や医療分野と密接な連携を必要とする中、臨床心理士を中心に適切な支援を行いました。

本市の不登校児童生徒数・出現率の推移

	小学校	中学校
平成25年度	15人（出現率 0.33%）	44人（出現率 1.98%）
平成26年度	16人（出現率 0.36%）	42人（出現率 1.86%）

【参考】

不登校とは

年度間に連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒数のうち、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないまたはしたくともできない状況にあること（ただし、病気や経済的理由によるものを除く）と文部科学省は定義しています。

4 教育委員会議、協議会の開催状況

教育委員会議については、原則として毎月1回「定例会」、必要に応じて「臨時会」を開催、また事前協議等のための「協議会」も開催しています。

- (1) 教育委員会定例会 12回
- (2) 教育委員会臨時会 6回
- (3) 教育委員会協議会 11回

5 教育委員会議での審議状況

(1) 定例会・臨時会

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第21条に定める職務について、同法第25条及び「福知山市教育委員会基本規則」第7条に定める事務について、平成26年度は合計70件について審議しました。

- ①教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること . . . 10件
- ②委員会規則その他委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること . 20件
- ③教育予算、条例案、その他議会の議決を経るべき議案について . . . 26件
- ④法令又は条例に定めのある附属機関の委員の委嘱 1件
- ⑤委員会及び学校その他の教育機関の職員の人事に関すること 10件
- ⑥教育に係る表彰に関すること 2件
- ⑦教育委員会点検・評価に関すること 1件

平成26年度 教育委員会議 議案等審議状況一覧表

開催日	種別	議案番号	専決番号	件名	
4月23日	定例	議 1 号		市立幼稚園再編計画の策定について	
		議 2 号		福知山市立図書館条例施行規則の一部改正について	
		議 3 号		福知山市社会教育委員の委嘱について	
		議 4 号	専決 1 号		市民交流プラザふくちやま条例施行規則の一部改正について
		議 5 号	専決 2 号		市立公民館条例の施行規則の一部を改正する規則の制定について
			報 1		教育長決裁による後援承認事項について (No.1~6)
			報 2		新図書館中央館 I C 関連機器導入委託に係る公募型プロポーザルの審査結果について
			報 3		図書館協議会公募委員の決定について
			報 4		中央館休館中の新聞閲覧コーナーの設置について
			報 5		「市民交流プラザふくちやま」施設管理業務委託に係る公募型プロポーザルの結果について
			報 6		第15期福知山市社会教育委員会議提言書について
5月27日	定例	議 6 号		福知山市立図書館協議会委員の委嘱又は任命について	
		議 7 号		福知山市少年補導センター運営委員会委員の委嘱について	
		議 8 号		福知山市立三岳小学校統合に関する要望書について	
		議 9 号		平成26年度一般会計教育費歳入歳出補正予算要求書の提出について	
		議 10 号		工事請負変更契約の締結について	
		議 11 号		図書館のグランドオープンにかかる感謝状の贈呈について	
			報 7		教育長決裁による後援承認事項について (No.7~20)
6月30日	定例		報 9	福知山市私立幼稚園就園奨励費交付要綱の一部改正について	
			10	教育長決裁による後援承認事項について (No.21~34)	
			11	「放課後児童クラブの設備及び運営に関する基準」意見募集について	
			12	福知山市立図書館中央館の開館時間の変更について	
			13	福知山市立図書館中央館開館記念事業第23回京都図書館大会(案)について	
			14	全国学力学習状況調査結果の取り扱いについて	
			15	教育委員の服務について	
		7月25日	定例	議 12 号	
	報 16			教育長決裁による後援承認事項について (No.35~42)	
	17			教科用図書の採択について	
	18			学校園の状況報告について (指導主事の学校訪問より)	
	19			教育委員会議・教育委員会協議会の持ち方について	

平成26年度 教育委員会議 議案等審議状況一覧表

開催日	種別	議案番号	専決番号	件名	
8月5日	臨時	議 13 号		平成27年度以降使用小学校教科用図書の採択について	
8月20日	定例	議 14 号		平成26年度一般会計教育費歳入歳出補正予算要求書の提出について	
		議 15 号		福知山市立学校設置条例の一部改正について	
		議 16 号		福知山市少年補導センター条例の一部改正について	
		議 17 号		福知山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について	
		議 18 号		専決処分の承認について	
			専決 3 号		損害賠償について
			報 20		教育長決裁による後援承認事項について (No.43~49)
	報 21		福知山市立図書館の臨時休館について		
	報 22		全国学力学習状況調査結果の取り扱いについて		
9月22日	定例	議 19 号		委員長の選任について	
		議 20 号		委員長職務代理者の指定について	
		議 21 号		専決処分の承認について	
			専決 4 号		平成26年度一般会計教育費歳入歳出補正予算(追加分)要求書の提出について
		議 22 号		平成26年度教育委員会表彰について	
		議 23 号		平成27年度福知山市立幼稚園の入園募集について	
			報 23		教育長決裁による後援承認事項について (No.50~55)
	報 24		「放課後子ども総合プラン」について		
	報 25		全国学力学習状況調査結果の取り扱いについて		
10月29日	定例			報 26 教育長決裁による後援承認事項について (No.56~63)	
				27 福知山図書館(大江分館)の臨時休館について	
				28 放課後児童クラブ6年生拡大について	
11月12日	臨時	議 24 号		平成26年度福知山市立学校教職員人事異動方針の策定について	
11月20日	定例	議 25 号		平成26年度一般会計教育費歳入歳出補正予算要求書の提出について	
		議 26 号		福知山市立体育館条例の一部を改正する条例の制定について	
			報 29		教育長決裁による後援承認事項について (No.64~69)
12月8日	臨時	議 27 号		平成26年度福知山市立学校教職員人事異動方針の策定について	
12月25日	定例	議 28 号		平成27年度学校教育の重点について	
		議 29 号		平成27年度社会教育の重点について	
		議 30 号		福知山市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について	
		議 31 号		福知山市立公民館条例施行規則の一部を改正する規則について	
		議 32 号		職員の異動発令について	
			報 30		教育長決裁による後援承認事項について (No.70~73)
			報 31		平成27年度福知山市立幼稚園の入園募集結果について
	報 32		平成27年福知山市成人式について		

平成26年度 教育委員会議 議案等審議状況一覧表

開催日	種別	議案番号	専決番号	件名
1月9日	臨時	議 33 号		小学校教職員の懲戒処分の内申について
1月28日	定例		報 33	教育長決裁による後援承認事項について (No. 7 4 ~ 7 7)
			報 34	福知山市立小学校及び中学校に勤務する府費負担職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令について
			報 35	インフルエンザについて
2月20日	定例	議 34 号		福知山市立小学校及び中学校通学区域の指定に関する規則の一部を改正する規則について
		議 35 号		教育委員会事務点検評価について
		議 36 号		福知山市における法令遵守の推進等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
		議 37 号		職務に専念する義務の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について
		議 38 号		福知山市長及び副市長並びに上下水道事業管理者の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
		議 39 号		福知山市旅費支給条例の一部を改正する条例の制定について
		議 40 号		福知山市の特別職等の職員で常勤のものの退職手当に関する条例の一部を改正する条例
		議 41 号		福知山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の制定について
		議 42 号		福知山市付属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について
		議 43 号		特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
		議 44 号		福知山市放課後児童クラブの設置に関する条例の制定について
		議 45 号		福知山市教育集会所条例の一部を改正する条例の制定について
		議 46 号		福知山市三岳青少年山の家条例を廃止する条例の制定について
		議 47 号		専決処分の承認について
		議 48 号		平成26年度一般会計教育費歳入歳出補正予算要求書及び繰越調書の提出について
		議 49 号		物品の取得について
		議 50 号		平成27年度予算事業概要について
2月26日	臨時	議 51 号		教職員人事異動内申について
3月13日	臨時	議 52 号		教職員人事異動内申について

平成26年度 教育委員会議 議案等審議状況一覧表

開催日	種別	議案番号	専決番号	件名
3月23日	定例	議 53 号		市立幼稚園児の定員の一部改正について
		議 54 号		福知山市いじめ防止基本方針（案）の制定について
		議 55 号		福知山市いじめ問題対策連絡会議設置要綱の制定について
		議 56 号		福知山市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
		議 57 号		福知山市教育委員会基本規則の一部を改正する規則の制定について
		議 58 号		福知山市教育委員会会議規則の一部を改正する規則の制定について
		議 59 号		福知山市教育委員会傍聴人規則の一部を改正する規則の制定について
		議 60 号		福知山市教育委員会公印規程の一部を改正する規程の制定について
		議 61 号		福知山市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程の制定について
		議 62 号		福知山市学校教育指導主事の任命等に関する規程の一部を改正する規程の制定について
		議 63 号		福知山市立幼稚園預かり保育実施要綱の一部を改正する要綱の制定について
		議 64 号		福知山市立幼稚園保育料減免に関する規則を廃止する規則の制定について
		議 65 号		福知山市立幼稚園園則の一部を改正する園則の制定について
		議 66 号		福知山市三岳青少年山の家条例施行規則を廃止する規則の制定について
		議 67 号		福知山市教育集会所条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
議 68 号		福知山市放課後児童クラブの設置に関する条例施行規則の制定について		
議 69 号		福知山市いじめ防止対策委員会規則の制定について		
議 70 号		教育委員会事務局及び学校その他の教育機関の職員の異動発令について		

(2) 教育委員会協議会

「福知山市教育委員会基本規則」第4条により開催した協議会において、
案件一覧表のとおり平成26年度は合計25件について協議しました。

平成26年度 教育委員会協議会案件一覧表

開催日	番号	件名
4月14日	1	幼稚園再編計画案について
4月23日	2	教育長報告事項について
5月27日	3	教育長報告事項について
	4	今後の放課後児童クラブ運営について
	5	全国学力・学習状況調査結果について
7月25日	6	教育長報告事項について
	7	来年度の予算に向けての基本的な考え方について
	8	学校園の状況報告について
	9	教育委員会議・教育委員会協議会の持ち方について
10月29日	10	教育長報告事項について
	11	放課後児童クラブ6年生拡大について
11月20日	12	教育長報告事項について
	13	平成27年度部内予算要求方針について
	14	平成27年度学校教育の重点の策定について
	15	平成27年度社会教育の重点の策定について
12月8日	16	修斉小学校長の交通事故に関わる対応、及び人事措置にかかる日程について
12月25日	17	1月臨時教育委員会について
	18	教育委員活動に関する自己点検評価について
1月28日	19	教育長報告事項について
	20	子ども・子育て支援事業計画(案)
	21	福知山市放課後児童クラブ実施に関する条例(案)について
	22	平成27年度小中学校入学予定者数について
	23	教育委員会事務点検評価について
2月20日	24	教育長報告事項について
3月23日	25	教育長報告事項について

6 教育委員会会議以外の活動(教育委員が出席した活動等)

月	各 種 行 事 ・ 大 会 等	
	福 知 山 市 関 係	国 ・ 府 関 係
4月	新任校長着任式 小中学校入学式 市立幼稚園、小・中学校当初校（園）長会議 自治功労者表彰式 市民交流プラザ内覧会 市民交流プラザオープンセレモニー	京都府市町村教育委員会連合会三役会及び幹事会 府内市町（組合）教育委員会教育長会議 近畿都市教育長協議会定期総会 中丹管内教育委員会委員長・教育長会議 中丹地方教育委員会連絡協議会総会・委員研修会
5月	市議会定例会 春季自治会長会	第1回中丹地区教科用図書採択委員会 京都府市町村教育委員会連合会三役会及び幹事会 第66回全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会 府市町村教育委員会連合会定期総会・委員研修
6月	市議会定例会 市民交流プラザグランドオープンセレモニー	みんなでコラボ in 中丹
7月	市立幼稚園、小・中学校第2回校（園）長会議	第2回学力充実対策会議 第2回三役会及び幹事会 心の教育充実対策会議 第1回生徒指導連絡協議会 第2回中丹地区教科用図書採択委員会 海フェスタ 第3回中丹地区教科用図書採択委員会
8月	市学校教育振興会研究発表会	京都府市町村教育委員会連合会 第3回 三役会及び予算要望書提出・懇談会
9月	市議会定例会	
10月	戦没者追悼式 市学校保健研究大会 中丹マイスクールデザイン校算数科研究発表会 市議会定例会 京都府へき地・小規模校教育研究会中丹支部 研究会・研究発表会	近畿都市教育長協議会研究協議会 近畿市町村教育委員研修大会 京都府内市町（組合）教育委員研修会 市町村教育委員会研究協議会
11月	養父市教育委員会研修視察対応 学校音楽祭 中丹マイスクールデザイン校国語科研究発表会 教育委員会表彰式 京都府小学校教育研究数学教育研究大会 京都府小学校教育研究理科教育研究大会 福知山マラソン 学力向上システム開発校研究発表会	
12月	市議会定例会 市立幼稚園、小・中学校第3回校（園）長会議	
1月	出初式 市議会臨時会 福知山市成人式	京都府都市教育長協議会 中丹地方教育委員会連絡協議会教育研修 視察（大阪府茨木市）
2月	市学校教育フェスティバル 市立幼稚園、小・中学校第4回校（園）長会議 市議会定例会 市議会答弁調整 教育委員研修会	中丹地方教職員研究大会
3月	市議会定例会 市立小・中学校卒業式 雀部幼稚園閉園式 教職員異動面談 川合小・三岳小閉校式	

7 教育委員会議の評価（成果と課題）

【成 果】

- 1 事務局から事前に資料提供を受け、各教育委員ともに十分に内容把握の上、会議に出席し検討を行った。また、会議では、活発な意見交換があり、議案等の審議においても事務局からの説明に対して必要な指摘や質問を行った。
- 2 緊急に報告すべき案件について、適宜適切に報告を行い、教育委員会と事務局との一層の連携が図れた。特に重要な事案については迅速に臨時の教育委員会を召集し対応した。
- 3 傍聴者数が、前年度と比較して29名増加したことは一定の評価ができる。傍聴者が増えたことにより、公開性が高まったものとする。

【課 題】

（基本的には、上記成果のさらなる充実を図りながら）

- 1 教育委員会議により多くの傍聴者を迎えるとともに、教育委員会の取り組みについて市民の理解を深めるために、ホームページでの情報提供を迅速に行うことと、見やすい紙面の広報資料の作成
- 2 教育委員会議の効率的な運営により、今日的な課題等を協議するなど会議内容のさらなる充実と研修活動の推進
- 3 教育委員会制度に関する改革（総合教育会議の設置）による、市長部局との連携・相互理解の推進

8 施策の取組状況評価

(1) 点検・評価の対象

教育委員会では毎年度、「教育の重点」を策定しています。平成24年度からはさらに概要版を作成し、この中で重点的に取組む項目を公表しています。

平成27年度の教育委員会事務点検・評価に当たっては、「平成26年度福知山市教育の重点」に示す学校教育の重点6項目及び社会教育の重点7項目、合計13の重点項目に対する事務事業を点検・評価の対象としています。

【平成26年度「学校教育の重点」に示す重点6項目】

- ① 基本的人権の尊重を基盤とした、一人一人を大切にした教育を進める
- ② 「保幼小中一貫・連携教育<シームレス学園構想>」の一層の充実とその成果(確かな学力・生徒指導・進路)の普及を図る。
- ③ 基本的な生活習慣や社会の決まりを身に付け、身近な人々と協力し助け合う態度を育てる。
- ④ 自ら安全に行動し、他の人の安全な生活にも貢献しようとする意欲と態度をはぐくむ。
- ⑤ 学校と地域社会との連携を深め、地域社会の知恵と力を活かした教育環境づくりを進める。
- ⑥ 学校図書館機能を充実し、よりよく課題を解決するための利用や主体的な学習活動、読書活動の充実を図る。

【平成26年度「社会教育の重点」に示す重点7項目】

- ① 「家族だんらんの日」の趣旨を中心に据えて、すべての教育の出発点である家庭教育の支援を地域社会と連携して推進する。
- ② 市民の声が響き合う社会教育事業と学社連携の推進を図る。
- ③ 児童が安心して生活できる放課後児童クラブの健全な運営及び、子ども・子育て関連3法の改正に伴う、全クラブでの6年生までの受け入れ実現に向け、環境整備を図る。
- ④ 生涯各期を見通して実践してきた様々な人権問題の今日的状況を踏まえ、多面的な視点からあらゆる機会をとらえ、研修・啓発を進める。
- ⑤ 埋蔵文化財の保護を図って、歴史・文化の普及啓発を進めるとともに、歴史的な町並みや景観の保全と活用に向けた調査・研究を進める。
- ⑥ 公民館活動を通じ、地域における環境等の現代的課題や地域的課題への取組みの推進と子どもの健全育成を促進するとともに、「市民交流プラザふくちやま(愛称`ききょう`)」を中心とした様々な生涯学習活動・市民協働・地域活動等を促進し、地域に活気と賑わいをもたらす拠点施設としての位置付けに基づき、様々な施策を展開し、積極的な事業展開を図る。

- ⑦ 市民の生活、学習、文化を育む拠点施設として新図書館中央館を開館し、図書館サービスの充実と、福知山駅周辺を舞台に人と情報が出会い、交流する「まちと人、人と人をつなぐ」交流空間を創造する。

(2) 点検・評価結果の方法

①点検・評価の構成

13の重点項目について、項目毎に関係事業の評価結果を点数化し、重点項目毎の総合評価としました。

②点検・評価の基準

計画目標に対しての進捗状況等、年度内の取組みを評価委員の方々の御意見を参考にしながら、各関係事業の評価をA～Cの3段階で行い、点数化したものを下記の基準により、重点項目毎の総合評価としました。

○関係事業の評価基準(事業評価)

- ・ 計画以上の成果が得られた。・・・ A 3点
- ・ 計画どおり目標は達成できた。・・・ B 2点
- ・ 課題があり、改善を要する。・・・ C 1点

☆総合評価基準(X値)の算出方法

$$\left(\frac{\text{各事業の合計点数}}{\text{各事業の数}} = \text{X値} \right)$$

○重点項目毎の総合評価基準

- X値 2.6以上 …… 計画以上の成果が得られた。 A評価
X値 1.6以上～2.5以下 …… 計画どおり目標は達成できた。 B評価
X値 1.5以下 …… 課題があり、改善を要する。 C評価

③実施状況

各項目の目標達成に向けて、主に取り組んだ事業内容、対象及び実績を示しました。

④成果・課題

教育上効果のあがった内容、成果及び課題等を示しました。

⑤関連事業

各項目の目標達成に関する事業名、担当課名及び評価判断基準による各関連事業の評価を示しました。

(3) 教育委員会事務点検・評価委員の意見・助言等

点検・評価に当たっては、教育に関し学識経験を有する方の御協力を得て、点検・評価会議を開催し、様々な意見や助言をいただきました。

教育委員会事務点検・評価委員評価委員名（敬称略）

氏 名	所 属
足 立 正 夫	元夜久野町教育長、元夜久野地域公民館長
秦 正 音	元人権擁護委員、元正寺住職
三 品 勉	成美大学教授

点検・評価会議開催期日

第1回	平成27年11月26日	市役所会議室
第2回	平成27年12月24日	市役所会議室

○点検・評価委員会での主な意見、助言

2回の点検評価会議において、委員のみなさんからいただいた主な意見や助言は次のとおりです。

- ・各事業の評価は出来るだけ数値目標等の客観的指標により評価し、重点項目毎の総合評価は、関連する各事業の評価結果により導かれるものとするなど、評価の尺度と体系を確立するべきである。
- ・国、府の平均値や他の市町村と数値的に比較が出来る項目については、出来るだけ資料を収集し、評価に活用すべきではないか。
- ・本市の教育活動で今日的課題と思われるもの(子どもの貧困対策、犯罪及びネットトラブルから守る取組など)については、積極的にその取り組みを説明することで、市民の関心・連携・協力を得ていくことにつながる。
- ・評価報告書の構成として、重点項目毎に資料を整理して見やすい報告書となるよう検討されたい。

(4) 評価の結果

重点項目（平成26年度「学校教育の重点」に示す重点項目1）	
① 基本的人権の尊重を基盤とした、一人一人を大切にした教育を進める	
重点項目に対する総合評価	B（計画どおり目標は達成できた）
実施状況	
○虐待、暴力行為、いじめや不登校の未然防止や早期対応	
<p>暴力行為、いじめや不登校の未然防止や早期対応のため、日常的な実態把握を行うとともに各小中学校への指導や支援をはじめ、関係機関と連携した取り組みを実施した。</p> <p>いじめや虐待等、あらゆる暴力から命と体を守るために児童自身がどう行動すればよいかを考える人権ワークショップを10小中学校で開催、とるべき行動について教職員や保護者等と共に学習した。（平成24年度からの3ヵ年計画で、最終年度）</p> <p>また、インターネットやSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）等の陰湿ないじめ等についての現状を知るとともに、市民全体で防止のためどのように行動すればよいかを考える機会とするため、メディアジャーナリスト・渡辺真由子さんを招いた講演会を開催した。</p> <p>各小中学校では、京都府のいじめ調査を実施すると共に、日頃から教職員がアンテナを高くして子どもたちの実態把握を行い、未然防止・早期発見・早期対応に努めた。特に11月をいじめ防止強調月間とし、公開授業や啓発活動、生徒会等を中心としたアピール等、保護者や地域を巻き込んだいじめ防止の取り組みを行った。</p> <p>不登校対策事業では、適応指導教室「けやき広場」と教育相談室において、不登校傾向の児童生徒の支援に努めると共に、保護者等からの教育の悩み相談に臨床心理士や相談員が応じた。また、訪問指導員（4人）・訪問指導専門員（1人）が学校や家庭をつなぎ、不登校の早期発見・未然防止に努めた。</p>	
○人権教育の推進	
<p>校園長会議や人権主任会議を通じて、学校で行う人権教育の目標である「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるようになる」「様々な場面や状況下での具体的な態度や行動に現れる」の実現に向け、本市の人権教育副読本「幸せを生きる」の共通教材「人にいちばん近いまち」等をはじめ府人権学習指導資料等の活用と人権学習の工夫改善に努めるよう指導した。また、各校園で実施される人権学習を保護者や地域に積極的に公開するとともに、指導主事等が参観やその校内研究会に参加し必要な指導や支援を行った。さらに、各種人権研修会に教職員を派遣し、人権意識の高揚と指導力の向上を図った。</p>	

○発達障害を含め障害のある幼児児童生徒への適切な支援

就学前スクリーニング及び通級指導教室幼児部での事後支援を行い、発達障害等のある子どもたちの早期発見及び早期支援に努めた。

思春期スクリーニングの実施校を拡大し、思春期に顕在化する発達障害や子どもの困り感を早期に発見し、小集団活動や発達検査などの事後支援を行った。地域の支援機関と連携した学校支援巡回チームにより、学校へ専門的な助言を行い、支援体制の強化・定着を図った。

また、生涯にわたる一貫した支援を行うため、個別の移行支援シートや相談支援ファイルを作成、活用しており、それらツールの機能的な活用に向けて、特別支援連携会議や中高連携交流会を開催し、協議・意見交流を行った。

更に管理職研修や特別支援コーディネーターなど教職員の研修会を開催し、特別支援教育に関する理解を深めた。

○虐待、暴力行為、いじめや不登校の未然防止や早期対応

○人権教育の推進

成果

いじめ防止にかかって、学校だけでなく、保護者や地域と認識を共有して取り組みを進めることができたことは、社会総がかりでいじめを許さないというアピールを子どもたちへ示すことができた。

人権ワークショップでは、具体的な事例から、児童・教職員・保護者等がいじめ防止について考えることができ、児童の実践につながる取り組みとなった。また児童が学んだワークショップ内容を、教職員・保護者等が共有することによって、いじめを含むあらゆる暴力を防止する効果を高めることができた。

また、いじめ防止にかかる取り組みを継続的に実施し、教職員が毅然とした姿勢を児童生徒や保護者に見せることで、学校のみでなく地域や保護者との共通理解のもと、連携した見守りを行うことができた。継続した取組によって教職員の認識もより高まり、一貫した学校経営につながっている。

人権教育の推進については、義務教育の最終出口を意識した進路指導についてブロック校長会等を活用しブロック単位で考える機会を持つことができた。それによって校種を越え、小中の9年間で高校へ進学できる力を確実に児童生徒に身につけさせなければならないという進路保障にむけた意識の向上につながった。

校園長会議や人権主任会議、校内研修会において人権教育の目標である「自他を大切にできる精神が児童生徒の雰囲気、言動として顕在化するようにさせること」について繰り返し指示や指導をすることで人権学習の充実についての認識が深まった。

具体的には、人権教育がいじめを発生させない集団づくり、学級づくりの根幹であると言う意識をもって人権学習の授業づくりに取り組む若い教師が増えた。

各校の人権推進計画によって個別的な視点と普遍的な視点からのアプローチによりバランスよく人権学習を実施することができた。

不登校総合対策事業として取り組んだ心の安定基地づくり推進事業においては

訪問指導員や訪問専門指導員の配置によって、家庭と児童生徒、学校とをつなぎ児童生徒の心の安定や教室復帰に寄与できた。適応指導教室「けやき広場」では中学3年生5名とも、高校進学を果たすことができた。訪問専門指導員は、家から出にくい児童生徒宅を訪問し、教育相談に応じたり、家庭生活の基盤づくりへの支援を行った。

教育相談では、福祉や医療分野と密接な連携を必要とする複雑・困難なケースが増えている中、臨床心理士を中心に適切な支援を行うことができた。特に、8月豪雨災害による被害に際しては、昨年度に引き続き、教育相談室の臨床心理士やスクールカウンセラーが子どもたちの支援に努めた。

課題

成長過程にある児童生徒においては、お互いのかかわりの未熟さ等からトラブルが起これ、いじめ等に発展することもあるため、引き続き取り組みを継続し、学校や社会全体で見守り、実践へとつないでいくことが必要である。

平成25年度にいじめ防止対策推進法が施行されたが、引き続き、学校では、未然防止、早期発見・早期対応を基本としながらも、いじめ調査のみでなく、生活調査等の実施など、日頃から随時、児童生徒や保護者の思いに寄り添い、状況把握を行うため、より、教職員の日頃のアンテナを高くすることが重要である。更には市として、いじめ防止のための体制を整えていく。

教職員の認識の深化と指導力の向上については、校長の指導の下、同和問題をはじめとするあらゆる差別等に対して「見抜き、判断し、行動できる力」が身に付く実践的な研修と継続的な研修システムの構築に向けさらに支援していかねばならない。また、差別をなくし人権を大切にすまらづくりにも積極的に協力し行動できる教職員の育成にも、より一層努めていかなくてはならない。

教育相談内容は、複雑・多岐化、高度化しており、福祉分野と連携が必要なケースも出てきている。また、中学校卒業後の支援については、関係機関との連携が必要な場合もあり、より広い連携が必要となっている。

本市不登校出現率 平成26年度 小学校 0.36％ 中学校 1.86％
(参考・25年度 小学校 0.33％ 中学校 1.98％)

【京都府いじめ調査結果から】

平成26年度年間まとめ本市 いじめの認知人数1213人(全体人数6662人)

○発達障害を含め障害のある幼児児童生徒への適切な支援

成果

本市では、発達障害のある子どもの支援を、保健・福祉・医療・教育がお互いに連携して行う支援連携が徐々に浸透しつつあり、就学前スクリーニングは99.5%の幼児に、思春期スクリーニングは72.2%の児童と51.6%の生徒に行うことができた。

学校現場にも自校外の専門家が複数体制で支援を行う体制が徐々に整いつつあ

り、発達障害を含む困り感をもった子どもの多角的な理解や支援が更に進んだ。

課題

今後は、思春期スクリーニングの実施校を拡大し、全市的なスクリーニングシステムとする必要があるが、学校支援巡回チームの相談員が不足しており、各校が希望する時期に全小学校で実施することは困難な状況であるため、カンファレンスのもち方及び相談員の確保についても検討していく必要がある。

また、移行支援ツールや支援チームなどを活用し、移行期を円滑につなぐシステムを定着させていく必要がある。

関係事業

家庭教育支援事業	【学校教育課】	A	P. 38
特別支援教育推進事業	【学校教育課】	B	P. 41
いじめ根絶対策事業	【学校教育課】	B	P. 43
心の安定基地づくり推進事業	【学校教育課】	B	P. 43
人権教育研修事業	【学校教育課】	B	P. 44
人材育成支援事業	【学校教育課】	B	P. 44
入学一時金支給事業	【学校教育課】	B	P. 44
スクールカウンセラー活用事業	【学校教育課】	B	P. 44
仮称・教育支援センター整備事業	【学校教育課】	B	P. 44

重点項目（平成26年度「学校教育の重点」に示す重点項目 2）

② 「保幼小中一貫・連携教育〈シームレス学園構想〉」の一層の充実とその成果（確かな学力・生徒指導・進路）の普及を図る。

重点項目に対する総合評価 B（計画どおり目標は達成できた）

実施状況

〇シームレス学園構想に基づく連携教育の推進

本市シームレス学園構想の具現化として三岳小学校、川合小学校の平成27年度4月統合に向けた取り組みを行った。また、統合2年目となる夜久野小中学校の英会話コミュニケーション科を中心とする取り組みを推進し、講師を招いての研究会における授業改善や児童生徒のコミュニケーション能力の育成を図った。

「学校教育フェスティバル」を開催し、中学校ブロックの活動の取組成果の発表、並びに教職員を対象とした教育実践論文「けやき賞」の発表を行い、学校での教育実践について市民に周知した。

中学校ブロックでの一貫・連携教育を推進するため、小学校等での合同授業や行事と共に、小学校と中学校、小学校と高等学校と校種を超えた授業を中心とした交流を実施した。取組経費や交流にかかるバス経費を支援した。

○学力向上のための取組

学校課題に即応し、学校が企画・策定したプランを文武向上検証委員会で認定し、プランの実施にあたり、補助金で支援を行った。各種検定の受検を通じた学習意欲の向上や教科の学力向上策、また研究内容に沿った環境整備等、特色ある実践を行う学校を特認校に認定し、より創意工夫された取組の実施を支援した。

成果

シームレス学園構想に基づいた取組の実施により、三岳小学校と上川口小学校、川合小学校と細見小学校のスムーズな統合に向けた準備を行うことができた。

また、小規模校でも適正な規模での授業を計画的に実施できた。ブロック間の児童生徒・教員同士の交流で、状況の把握や系統性のある教育活動を行い、ブロックで統一した家庭学習の手引書やくらしのきまりの冊子作成、小学校から中学校への準備ドリル等により、教員の意識と指導を統一することができた。

また、ブロック連携だよりやリーフレット等によって、家庭や地域へ連携教育を紹介し、理解につながった。

夜久野小中学校の取組みでは、コミュニケーションをとろうとする意欲や態度、またコミュニケーション力の向上を図ることができた。

小学校と府立福知山高等学校の連携では、書道・音楽の専科教育を行うことができ、より専門性のある授業の実施や高校への見通しを持つことにつながった。

また、教員研修においては高等学校の教員の指導方法を学んだり、共同して授業を実施したりすることにより、有意義な授業研究となった。

学校教育フェスティバルでのブロックの取組発表によって、シームレス学園構想の具体的取組を市民に周知することができた。

文武向上プラン学校支援事業の取組みでは、各学校が自校の課題を認識し、独自の計画を策定・実施することは、効果的な学校経営のための意識の向上につながっており、地域の理解・協力も得られやすい。また取組みは児童生徒の基礎学力の向上や心豊かな人間形成等につながった。

京都府教育委員会の指定を受けて、雀部小学校と六人部中学校が学力向上システム開発校の取組みを行った。学力の向上に向け、ユニバーサルデザインの誰にもわかりやすい指導のあり方等を研究することができた。

課題

まなびのつながり強化推進事業では、系統性のある活動の充実を図るためには、バス等を利用することが必要であるが、移動時間等のため、時間の確保に課題がある。また、指定校の取組みでは、教職員が認識を共有して指導することが必要である、

全市的な学校教育の取組みを周知する学校教育フェスティバルについては、より多くの市民の参加を促すため、十分な周知を行う必要がある。あわせて内容も工夫を重ねることが必要である。

文武向上プラン学校支援事業等の学校での取り組みにおいては、各校での取組内容の周知を行うと共に、成果と課題の検証を学校で適切に行い、次年度の取り組みにつなげることができるよう意識することが必要である。

関係事業

まなびのつながり強化推進事業	【学校教育課】	B	P. 37
文武向上プラン学校支援事業	【学校教育課】	B	P. 37
指定校研究事業	【学校教育課】	B	P. 38
AET配置活用事業	【学校教育課】	B	P. 38
基礎学力定着事業	【学校教育課】	B	P. 38
下村脩グランプリ事業	【学校教育課】	A	P. 38
グローバル人材育成事業	【学校教育課】	B	P. 38
教育活動指導援助事業	【学校教育課】	B	P. 39

重点項目（平成26年度「学校教育の重点」に示す重点項目 3）

- ③ 基本的な生活習慣や社会の決まりを身に付け、身近な人々と協力し助け合う態度を育てる。

重点項目に対する総合評価

B（計画どおり目標は達成できた）

実施状況

全ての教育活動を通して本市教育目標「自分のために 人のために 社会のために 共に幸せを生きる人材の育成」を図っているが、特に道徳の時間や学級活動の時間では重点化して計画的に指導を行った。

基本的な生活習慣の定着を図るために、PTAと連携した「早ね・早おき・朝ごはん」の取り組みを進めた。

日新中学校では平成26年度に「スーパー食育スクール事業」の文部科学省の指定を受け、専門家と連携をしながら食事内容(朝食)の改善・充実を図った。

社会の決まりを身に付けるために、少年サポートセンターと連携して非行防止教室を開催した。

成果

全小中学校で道徳教育推進教師を中心に道徳教育の全体計画や年間指導計画を見直し、道徳資料の有効活用や、体験活動を生かした道徳の時間の工夫を行うことで、教職員の意識が高まり、道徳の時間の充実が図れた。

「スーパー食育スクール事業」の取組により日新中学校において、以前より朝食内容の改善の見られた生徒は65%（目標50%）となった。また成美大学短期大学部と連携して朝食レシピ集を作成し、保護者や各小中学校へ配布し好評であった。

全小中学校で非行防止教室を1学期中に実施することができた。低年齢化傾向にある非行防止のため、また危険回避のための知識を得ることができ、犯罪の未然防止の一助となった。

課題

基本的な生活習慣や社会の決まりを身に付け、協力し助け合う態度を育成するためには、家庭や地域との連携が大変重要であり、連携の強化を図る必要がある。法律や決まりを守る行動につなげる「法やルールに関する教育」の推進が求められる。

「スーパー食育スクール事業」においては、生徒主体の情報発信の機会を増やし地域、社会にさらに発信していくことが必要である。

関係事業

スーパー食育スクール事業【学校教育課】 B P. 47

重点項目（平成26年度「学校教育の重点」に示す重点項目 4）

④ 自ら安全に行動し、他の人の安全な生活にも貢献しようとする意欲と態度をはぐくむ

重点項目に対する総合評価 B（計画どおり目標は達成できた）

実施状況

児童生徒が、地震や風水害による危険察知や避難方法、家庭での防災対策を知り、自らの命を守るためにはどうすればよいのかを考え、行動する力を育成するため、全市一斉学校防災訓練(避難訓練)を行うとともに、防災センターでの体験学習を行ったほか、教職員が防災教育のリーダーとしての自覚を高め、実践力を身につけ指導できるよう教職員対象の応急手当普及員講習会の実施を行った。

また、福知山市子ども安全対策連絡協議会を中心として学校・幼稚園と地域社会が連携を図り、見守り活動や講演会などを通して子どもの安全を守る環境整備を進めた。

平成26年8月の豪雨災害により被災した児童生徒の支援として、平成25年度に制定した「災害時における被災児童及び生徒に対する学用品等支給要領」に基づき、教科書や学用品を支給した。

成果

子どもたちが防災訓練の実施や防災センターでの見学・体験学習によって、地震や風水害による危険察知や避難方法について、自らの命を守るためにはどうすればよいのか考えるきっかけとなった。また、普通救命講習会における講師役となる応急手当普及員の修了者を各校1名以上は養成することができた。

被災した児童生徒に教科書や学用品を支給することで、児童生徒の学習環境を整えることができた。

課題

引き続き、地域の意見を取り入れたり、地域との協力のもと、開かれた学校経営やキャリア教育を行っていくことが必要である。

見守り活動団体と学校との連携をより密接にし学校・地域との情報共有を図る。

関係事業

指定校研究事業	【学校教育課】	B	P. 38
KYO 発見 仕事・文化体験活動推進事業	【学校教育課】	B	P. 41
見守り活動支援事業	【学校教育課】	B	.

重点項目（平成26年度「学校教育の重点」に示す重点項目 6）**⑥ 学校図書館機能を充実し、よりよく課題を解決するための利用や主体的な学習活動、読書活動の充実を図る。****重点項目に対する総合評価****B（計画どおり目標は達成できた）****実施状況**

子どもたちの豊かな創造力を育て、確かな学力と生きる力を伸ばすためにも読書活動の大切さが再認識され、学校図書館の役割が重要視されている。各校では本の読み聞かせなどのボランティア活動も行われている。このような中、桃映・南陵・成和・六人部・川口・日新・三和・夜久野・大江の各中学校ブロックに、ブロック内の小中学校を兼務とする学校司書を1人ずつ、計9人配置した。

学校司書の業務内容は、学校の司書教諭（または学校図書館担当教諭）の指導の下、学校図書館の環境整備、図書の情報提供・収集、図書の貸出し返却処理、授業に必要な図書資料の準備、学校図書館を利用した子どもの居場所づくりに関する補助業務等である。

成果

子どもたち一人当たりの読書冊数が、平成22年度から平成25年度にかけて増え、平成26年度は平成25年度とほぼ同じ数であった。

学校からは、「学校図書館に子どもが行きやすい環境をつくることできた。」「掲示物の作成や展示物を選定するなど環境整備ができたので、来室、利用者が増えた。」「お勧めコーナーや読み聞かせ、読書相談をすることにより、本に興味を持つ子どもが増えた。」等と評価された。

課題

引き続き、ボランティアの協力も得ながら、読書活動を充実させることが必要である。

関係事業

学校図書館機能充実事業	【学校教育課】	B	P. 39
-------------	---------	---	-------

重点項目（平成26年度「社会教育の重点」に示す重点項目 1）

⑦「家族だんらんの日」の趣旨を中心に据えて、すべての教育の出発点である家庭教育の支援を地域社会と連携して推進する。

重点項目に対する総合評価

B（計画どおり目標は達成できた）

実施状況

○家庭教育の推進

こだま教育運動事業を「平成こだま教育推進事業」と名称変更し、「次代を担う青少年の健全育成」に焦点をあて、各地区公民館を対象とした「青少年思いやり地域活動事業」を実施した。家庭、学校、地域社会が連携し異年齢集団の子ども達や地域の人々の交流活動を地域住民の主体的な取組をとおして、いじめ根絶をキーワードに、心豊かで互いに思いやり共に助け合いながらつながる、地域活動を支援し、青少年の学校外活動の推進と家庭と地域における教育力の向上を図る取組を実施した。

「育もう笑顔と思いやりの心・高めよう協調と意識の高揚」を基本テーマに、PTA連絡協議会共催事業を実施した。各小中学校の単位PTAとの連携を深め、情報交換や研修・学習等を通して、子どもたちの目線にたって、その立場・気持ちを考えて行動できる保護者をめざし、意識の高揚を図るため、研修会や交流会を開催した。市立幼稚園PTAも共催事業で、父母・教師共に学びあい、人間的な成長をめざし研修会を開催した。

○青少年教育の推進

青少年問題協議会・育成協議会と共催で、青少年健全育成大会の開催や街頭啓発を実施した。また、青少年育成協議会や子ども会への活動補助金の交付を行い、各地区青少年育成協議会の活動や子ども大会を開催した。福知山市青少年育成協議会は平成26年度をもって休会になった。

人生の大きな節目を祝うとともに、社会人としての自覚を促すため、成人式を開催した。また、若者の参画を進めるため、高校生ボランティアによる運営協力などを実施した。

少年補導センター事業では少年補導委員による巡回指導等により、青少年の非行防止と健全な生活を確保し、誰もが安全安心に暮らせる地域づくりを図った。

○地域社会の教育力向上を目指す活動

心の教育実践活動事業を通して各中学校ブロック(10ブロック)の「心の教育」実践活動実行委員会により、あいさつ運動や家族だんらんの日の啓発、地域と学校が連携した異年齢による青少年の体験活動を実施し、「地域で子どもを育て守る」という連帯感を高め、人を育む心豊かな地域の構築を図った。

公誠小学校の休校に伴って、地域の子どもの地域で育てることで地域の活性化を図り、放課後等における安全で健やかな居場所と学びの場を提供するため、公誠子ども教室を開設した。

成果平成こだま教育推進事業は、親子でふれあう体験活動や美化作業など30公民

館で、のべ882時間を実施した。また、掲示教育(まちかど黒板)で市内358箇所の掲示文を月2回更新した。「家族だんらんの日」作品集を33,000部作成し、32,220部を全戸配布した。

P T A連絡協議会共催事業は、研修会や交流会を11事業開催し、1,373人の参加があった。また、市立幼稚園P T A連絡協議会共催事業は研修会等5回の事業を開催し、62人の参加があった。

青少年健全育成大会は大江町総合会館ホールで開催し、181人の参加があった。また、子ども大会は4,000人の参加があった。

平成27年成人式は643人(該当者の79.6%)が出席した。

少年補導センターは年間314回、のべ994人が補導活動に参加し、旧市域では63回の注意・助言をおこなった。

心の教育実践活動事業は各ブロック(10ブロック)で家族だんらんの日の啓発、あいさつ運動、実践活動発表会やふれあい活動に取り組み、22,681人の参加があった。公誠子ども教室は平成26年度は14人が在籍し、地域のみなさんの協力を得て、年間207日開室し、のべ1,668人の参加があった。

課題平成こだま教育推進事業は、いじめ根絶や今日的課題を見据えた更なる運動と取り組みが必要である。

P T A活動、青少年健全育成、子ども会活動は、それぞれに青少年を取り巻く社会環境の変化に対応できる組織づくりが必要である。

少年補導センター活動は、福知山市街地中心の補導活動だけでなく、中学校区単位で周辺地域も含めた補導活動の工夫や、組織拡大による補導委員相互の連携強化と補導委員の育成、相談活動や環境浄化活動の充実と保護司会等の関係機関との連携強化が課題である。

公誠子ども教室は、今後の在籍児童数の減少と教室運営を支えている地域住民の高齢化をふまえ、今後の運営について協議していく必要がある。

関係事業

平成こだま教育推進事業	【生涯学習課】	事業評価	A	P. 56
P T A連絡協議会共催事業	【生涯学習課】	事業評価	A	P. 56
青少年健全育成事業	【生涯学習課】	事業評価	C	P. 56
子ども会育成事業	【生涯学習課】	事業評価	B	
成人式事業	【生涯学習課】	事業評価	B	P. 57
少年補導センター事業	【生涯学習課】	事業評価	A	P. 57
公誠子ども教室事業	【生涯学習課】	事業評価	B	P. 57
心の教育実践活動事業	【生涯学習課】	事業評価	B	P. 57

その他(参考資料等)

『平成26年度 社会教育事業のまとめ ～生涯学習情報誌～』

重点項目（平成26年度「社会教育の重点」に示す重点項目2）

⑧ 市民の声が響き合う社会教育事業と学社連携の推進を図る。

重点項目に対する総合評価

B（計画どおり目標は達成できた）

実施状況

○生涯学習の推進

生涯学習まちづくり出前講座は、市民の団体グループ等が主催する生涯学習を目的とする学習会に市職員やスポーツ推進員がボランティア講師として出向事業で、専門知識を活かした講義や実習を開催した。

社会教育全般の生涯学習情報誌『平成25年度 社会教育のまとめ』を220部作成し関係機関に配布した。

市民の生涯学習の推進と研修及び成果発表の場として、夜久野町生涯学習センターの管理運営を行った。

成果：生涯学習まちづくり出前講座は平成26年度29講座を開講し、772人が受講した。出前講座は平成12年から開講し、市民にも広く定着しつつある。

生涯学習情報誌『平成25年度 社会教育のまとめ』を作成することにより、広く活動状況を広報することができた。

夜久野町生涯学習センターは平成26年度16,893人の利用があった。市民会館が改装のため休館中であり、ホールの利用は1件2,237人の利用者の増であった。

課題：出前講座は、市民の生涯学習の嗜好を計る目安であり、公民館等を活用し、今後さらに利用されるよう各課に協力を求め、講座内容の充実につとめ、広報を進めていきたい。

関係事業

生涯学習まちづくり出前講座事業	【生涯学習課】	事業評価	B	P. 50
生涯学習推進啓発事業	【生涯学習課】	事業評価	B	P. 50
夜久野町生涯学習センター事業	【生涯学習課】	事業評価	B	P. 50

その他（参考資料等）

『平成26年度 社会教育事業のまとめ ～生涯学習情報誌～』

重点項目（平成26年度「社会教育の重点」に示す重点項目3）	
<p>⑨ 児童が安心して生活できる放課後児童クラブの健全な運営及び、子ども・子育て関連3法の改正に伴う、全クラブでの6年生までの受け入れ実現に向け、環境整備を図る。</p>	
重点項目に対する総合評価	A（計画以上の成果が得られた）
<p>実施状況</p> <p>○青少年教育の推進</p> <p>中六人部小学校を除く23小学校区19箇所で実施した。【市直営：12箇所（惇明・昭和・大正・雀部・庵我・修斉・遷喬・下六人部・成仁・三和・夜久野・大江）、委託運営：1箇所（上豊富）、補助運営：6箇所（天津・上六人部・上川口・佐賀・三岳・金谷）】</p> <p>常時は3年生まで、長期休業中は4年生まで受け入れ、施設に余裕のあるクラブ（三和・夜久野・大江・天津・上六人部・上川口・佐賀・三岳・金谷）は、常時・長期休業中ともに6年生まで受け入れた。</p> <p>平成26年4月より上豊富で6年生までの受け入れ拡大を行った。</p>	
<p>成果・課題</p> <p>利用児童の増加に対応して環境整備を進め、保護者の就労支援を図るとともに、子どもの安心・安全な居場所を確保することができた。</p> <p>全箇所での6年生受け入れ拡大に向け、施設整備と指導員の確保及び資質向上が必要である。</p> <p>児童の指導や学校施設・公共施設を利用する等にあたり、関係機関等の連絡・調整の強化も必要である。</p>	
<p>関係事業</p> <p>放課後児童クラブ運営事業【生涯学習課】 事業評価 A P. 56</p>	
<p>その他（参考資料等）</p> <p>『平成26年度 社会教育事業のまとめ ～生涯学習情報誌～』</p>	

重点項目（平成26年度「社会教育の重点」に示す重点項目 4）

- ⑩ 生涯各期を見通して実施してきた様々な人権問題の今日的状況を踏まえ、多面的な視点からあらゆる機会をとらえ、研修・啓発を進める。

重点項目に対する総合評価 B（計画どおり目標は達成できた）

実施状況

○人権教育の推進

共に幸せを生きるまちづくり人権講座を地域公民館、市、教育委員会が学校などと連携し実施した。小中学校を講座や学習会の会場とすることで、研修機会の少ない30代～40代の若年層の参加も得られた。また、地域公民館などで夜間に講座や学習会を実施し、壮年をはじめ各層の参加を得て、さまざまな人権について意識の向上が図れた。（参加実績3,086人 実施回数31回）

地区公民館人権教育講座は、地区公民館、自治会単位で学習課題を設定し、さまざまな人権問題を自らの課題として捉え、差別のない社会をつくることの大切さについて学習を深めることで「共に幸せを生きる」まちづくりを進めた。（参加実績2,373人 実施回数64回）

幼稚園・小学校・中学校PTA人権教育研修では、子どもたちが心豊かな人権感覚を身につけ「共に幸せを生きる社会」を実現する主体者として育つことをめざし、PTAが主体となり幼稚園、各小中学校で研修会を実施した。（参加実績10,849人 実施回数85回）

福知山市企業人権教育推進協議会は企業での人権教育を推進するため、新入社員・トップ・人権担当者を対象とした研修会、女性問題をテーマとした研修会を実施すると共に、人権ビデオの巡回研修を行った。（加盟99社）

人権教育を推進し啓発するため、「Imagination イマジネーション 想う つながる 一歩ふみだす」、「秋桜の咲く日」、「家庭の中の人権 カラフル」、「今、地域社会と職場の人権は!」、「自他尊重のコミュニケーションと職場の人権I」等のビデオ教材を購入した。

○成人・高齢者・障害者教育の推進

福知山市連合婦人会を母体とした婦人教育事業を実施した。男女共同参画社会の実現と活力ある地域社会づくりを目指して、幅広い分野での学習・実践を深めた。

障害者青年学級次行は、障害のある青年に主体的な学習活動と仲間との交流の機会を提供し、明日への意欲と展望を見出す機会となった。また、聴覚と視覚の障害を対象に障害者成人講座を開催し、生きがいのある生活を送り、それぞれ健康教室や講習会などに参加することで、自ら進んで社会参画できる学習の場を提供した。

成果：人権講座、人権学習会や研修会を継続的に行うことで、人権問題を正しく理解する機会を提供できた。8月豪雨のため中止をした講演会・研修会があり前年度より人数・回数が減少した。

婦人教育事業は福知山市連合婦人会を中心に741人の参加があった。

青年学級事業は水害のため開催回数が1回減の11回となったが、参加人員は270人であった。障害者成人講座は、聴覚3回、視覚4回の講座を開催した。

課題：講師の発掘や内容を工夫し、多くの参加が得られるように展開することが必要であると共に、学習後に実践につながる発展的な取り組みができるように事業展開の工夫が必要。

関係事業

共にしあわせを生きる人権講座事業	【生涯学習課】	事業評価	B	P. 53
公民館・企業巡回人権教育講座事業	【生涯学習課】	事業評価	A	P. 54
人権教育学習教材事業	【生涯学習課】	事業評価	B	
人権教育・啓発推進補助事業	【生涯学習課】	事業評価	B	P. 54
婦人教育事業	【生涯学習課】	事業評価	B	P. 55
障害者青年学級事業	【生涯学習課】	事業評価	A	P. 55
障害者成人講座事業	【生涯学習課】	事業評価	B	P. 55

その他（参考資料等）

『平成26年度 社会教育事業のまとめ ～生涯学習情報誌～』

重点項目（平成26年度「社会教育の重点」に示す重点項目5）

- ⑪ 埋蔵文化財の保護を図って、歴史・文化の普及啓発を進めるとともに、歴史的な町並みや景観の保全と活用に向けた調査・研究を進める。

重点項目に対する総合評価 **B**（計画どおり目標は達成できた）

実施状況

○文化・文化財保護の推進

埋蔵文化財の保護を図るため開発行為における事前の相談・調整・調査を行った。埋蔵文化財包蔵地の照会・相談は340件、工事に伴う遺跡の立会・試掘調査は31件、発掘調査は2件である。

○文化・文化財の普及・啓発、活用の推進

文化財保護の普及啓発においては、「広報ふくちやま」での指定文化財の紹介、京都新聞への連載記事提供、市民向けの出前講座の実施、指定文化財説明看板の設置、博物館・図書館での展示および解説、シンポジウムの開催などを行った。

歴史的町並みや景観の保全においては、その構成要素の一つである建造物の調査を5ヶ所で行い保存と活用について研究を進めた。

成果・課題

埋蔵文化財の保存に関しては、相談・照会・工事立会・試掘調査による対応で一定した成果を上げている。しかし、やむを得ず記録保存となる場合もあり、今後も開発行為と埋蔵文化財の保存をどう図るかが最大の課題である。

文化財の普及啓発においては、自然をテーマにしたシンポジウムの開催をすることにより、市民の自然への関心を高めることができたとともに、天然記念物への関心を持ってもらうことができた。また、初めて行った図書館内での展示は、文化財資料のみならず図書館蔵書の紹介にもつながり相乗効果があった。今後も普及啓発を進めていくためには継続的な資料の整理と資料価値を損なわない保管が必要である。

歴史的町並みや景観の保全において実施した調査では、福知山城の城門について再確認ができた。また、調査により保存と活用について検討を要する建物の確認もでき、今後の課題である。

関係事業

文化財保護事業	【生涯学習課】	事業評価	B	P. 58
ガンド遺跡発掘調査事業	【生涯学習課】	事業評価	B	
市内遺跡発掘調査事業	【生涯学習課】	事業評価	A	P. 58
文化財啓発事業	【生涯学習課】	事業評価	B	P. 58

その他（参考資料等）

『平成26年度 社会教育事業のまとめ ～生涯学習情報誌～』

重点項目（平成26年度「社会教育の重点」に示す重点項目6）

- ⑫ 公民館活動を通じ、地域における環境等の現代的課題や地域的課題への取組みの推進と子どもの健全育成を促進するとともに、「市民交流プラザふくちやま(愛称`ききょう`）」を中心とした様々な生涯学習活動・市民協働・地域活動等を促進し、地域に活気と賑わいをもたらす拠点施設としての位置付けに基づき、様々な施策を展開し、積極的な事業展開を図る。

重点項目に対する総合評価

B（計画どおり目標は達成できた）

実施状況

○地域住民の学習ニーズに応える学習活動や情報提供による地域コミュニティの育成

少子高齢化の進展や都市化、核家族化等の様々な社会環境が変化していく中で、人と人との絆や地域の絆が薄れ、地域の連帯意識が希薄化してきている今日において、地域活動の拠点施設である公民館は地域連帯意識の形成に重要な役割を担っている。地域住民の学習ニーズに応える学習活動や情報の提供を行い、地域コミュニティの育成を図ると共に、学習の成果や地域特性を活かし、親子や世代間で体験できる活動等を実践し、学校と地域社会の連携等によって、より一層充実した取組を推進することができ、家庭教育の支援に繋げた。

○地域の絆を強め、子どもの成長を地域社会全体で支え、子どもが安心・安全に活動できる地域づくりの推進

地域住民や関係諸団体との連携を密にして「心の教育」実践活動を推進し、地域の絆を深めるとともに、教育力を高め、併せて、市立公民館や地区公民館が公民館活動の重点を明確にしながら、学校や地域関係団体との連携を強化・発展させ、生涯学習社会における学習環境の整備・充実に努めた。

○施設の利便性を生かした誘客促進と賑わいの創出や拡大の推進

旧市民会館・中央公民館平成25年度利用者数 93,442人

市民交流プラザ（生涯学習スペース）

(H26.4.21～H27.3.31 338日間) 142,522人

○各種「ボランティア講座」の開催による、サポートと実践活動を通じたボランティア意識の醸成

地域住民及び公民館で活動するクラブ・同好会が主催する各種の「ボランティア講座」等の開催にあたり、講座でのサポートや実践活動を通じてボランティア意識の醸成を図った。

○公民館活動による地域社会の教育力向上に向けた、地域の人材活用と指導者の養成

高齢者の深い知識と経験を活用するために「市立公民館人材銀行」に登録し、地域や各種団体からの要請に基づき、蓄積された知識や技能の継承・伝達に努めた。

○公民館職員研修の充実

職員が国際化や情報化、高齢化などによる社会的要請や学習ニーズ等を広い視野に立って把握する能力を培うための研修会等への参加を呼び掛けた。

成 果

市立公民館は、講座や事業の開催、地域間交流、人権研修などの活動を行い、地域の生涯学習を推進する社会教育の拠点施設として重要な役割を担っており、地域づくりや地域の絆づくりに向けて、積極的な活動の展開を図ってきた。

また、学校、家庭及び地域社会との連携を密に図りながら、次代を担う子供たちの育成をはじめとした現代的課題や地域的課題の共有に努め、様々な課題解決に向けた事業展開を図ってきた。

自治公民館である地区公民館は、地域住民や自治会、学校等の関係諸団体等の連携により、地域での学習活動や地区住民の交流はもとより、公民館活動を通じて、人づくりや人と人の絆の構築に努め、地域課題の解決に向けた様々な活動や地域づくりを展開し、地域の生涯学習を推進した。

更に、社会教育施設として地域の活性化に努め、併せて、学校、家庭及び地域社会の連携を基として、次代を担う子供たちの健全育成に努めた。

課 題

昨今の社会環境は高度情報化の進展や急速な少子高齢化社会の進展など、生活環境等が大きく異なってきており、社会生活が大きく変貌していく中で、地域の絆が薄れ、子育てや青少年健全育成の推進の観点からも様々な課題点が生じてきている。

そのため、公民館が果たすべく役割や事業のあり方等についての求められるべき要求は日々多様化してきていると共に、更に拡大の様相を展開してきていることから、今後とも常に斬新な発想のもとで、事業展開を図っていくことが重要となってきた。

については、公民館活動をより充実した内容としていくためにも、従来から実施してきている講座や事業等について様々な観点から検証を加え、公民館活動の形骸化を防止するため、市民ニーズの把握に努め、福知山市立公民館運営審議会や公民館連絡協議会等のあらゆる機会を通じて、地域や関係機関並びに公民館関係者等の意見集約を行う等してより効率的な運用が図れるような活動の実践に努めていくことが重要となってきた。

関係事業

中央・地域公民館講座等開設事業	【中央公民館】	事業評価	B	P.	50
地区公民館育成事業	【中央公民館】	事業評価	B	P.	50
公民館連絡会・連絡協議会	【中央公民館】	事業評価	B	P.	50
高齢者ボランティア活動推進事業	【中央公民館】	事業評価	B	P.	50
公民館活動研修事業	【中央公民館】	事業評価	B	P.	51
市民交流プラザふくちやま管理運営事業	【中央公民館】	事業評価	A	P.	51

重点項目（平成26年度「社会教育の重点」に示す重点項目7）

- ⑬ 市民の生活、学習、文化を育む拠点施設として新図書館中央館を開館し、図書館サービスの充実と、福知山駅周辺を舞台に人と情報が出会い、交流する「まちと人、人と人をつなぐ」交流空間を創造する。

重点項目に対する総合評価

A（計画以上の成果が得られた）

実施状況

○新図書館中央館オープン

平成26年6月21日の新図書館中央館オープンを記念して、図書館活動の振興に貢献された方々を招き、市民とともに新しく生まれ変わる情報交流拠点の開館を祝った。また記念イベントを随時開催し、新しい図書館の周知と利用促進を図った。

○資料等の整備

年度末の蔵書数は183,594冊となり、佐藤八重子記念子ども読書活動振興基金を活用して、新鮮で魅力ある資料の整備を計画的に行う事ができた。またオンラインデータベースを導入し、新聞・法令・官報・レファレンスを利用者が閲覧できるよう資料整備を行った。

○新たなサービスの展開

対面読書ボランティアサービスの開始に伴い、ボランティアの育成を図り、対面読書を行う環境を整えた。

成果・課題

平成26年度中の開館日数は230日、来館者数は209,097人、貸出冊数は396,359冊である。旧図書館中央館と比較して、入館者が2.5倍、貸出冊数が1.8倍となっている。当初の見込みは、2倍を想定していたので、ほぼ目標を達成している。

利用状況の特徴として、子ども連れの家族、中・高校生、ビジネスマンの利用が増えている。また、三たん地域からの利用登録者数は、1,010人で、本の貸出に占める市外の割合は、全体の5.9%となっている。

今後は北近畿の中核都市として、子どもから高齢者、障害のある人などさまざまなニーズに応えられる図書館づくりを進めるとともに、まちに活気と賑わいをもたらす施設として、さらなる地域の活性化を図っていく。

関係事業

中央館運営事業

【担当課 図書館】

事業評価 A

P. 51

(5) 評価の資料 「教育の重点」の施策方針に対する取組状況

【平成26年度教育委員会事業 実施状況】

<p>施策方針</p>	<p>確かな学力をはぐくむ教育の推進</p>
<p>項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習指導 学習指導要領の趣旨を踏まえ、教育課程を適切に実施し、個に応じた指導の推進により、確かな学力（質の高い学力）を身に付けさせる。 ・ 幼稚園教育 幼稚園教育要領の趣旨を踏まえ、豊かな体験を通しての総合的な指導により人間形成の基礎を培うとともに、子どもの発達や学びを連続するため幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続を図ることが望まれる。
<p>実施、取組状況</p>	<p>【学校教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 総合的な学習推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校の横断的・探究的な学習活動である総合的な学習に対し、補助金を支出し、支援した。 <p><u>【実績】 H25 2,709,000円 H26 2,504,300円</u></p> ○ 文武向上プラン学校支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校が立てた自校の課題に即した文武向上プランの実行に関して補助金を支出し、学力向上を図ると共に効果的な学校運営を支援した。 <p>文武向上プラン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭学習の手引きの作成・各種検定への参加・読書活動 基礎学力の定着・授業改善・芸術鑑賞・マラソンの実施 ・ 中学校の運動部の社会人指導者派遣に謝金を支出し、人材の活用と取組を支援した。 <p><u>【実績】 H25 7,141,400円 H26 7,445,200円</u></p> ○ まなびのつながり強化推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保幼小中一貫教育の推進のため、保幼小・小中・小小連携活動等を進める学校の活動を補助金の支出と取組に必要なバスの運行委託経費等を支援した。 <p><u>【実績】 H25 3,628,481円 H26 3,469,566円</u></p>

実施、取組 状況	<p>○基礎学力定着事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力定着が必要な児童生徒に対する学習に必要なドリルや用紙代を予算配分により支出した。 <p><u>【実績】 H25 462,144 円 H26 474,650 円</u></p>
	<p>○家庭教育支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育の機会均等に資するため、児童生徒並びに教育力に課題のある家庭の相談や児童生徒の指導・支援を行った。 <p><u>【実績】 H25 1,745,500 円 H26 2,156,000 円</u></p>
	<p>○下村脩グランプリ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市出身でノーベル化学賞を受賞した名誉市民の下村脩さんの功績を称え、児童生徒の夢の実現に寄与するため、理科分野の作品を募って展示した。 <p><u>【実績】 H25 155,797 円 H26 192,227 円</u></p> <p>作品数 2,474 点（過去最高）</p>
	<p>○AET配置活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AET（英語指導助手）7人を委託契約により小中学校に配置。中学校では英語教育の充実、小学校ではコミュニケーション能力の素地を培うため、外国語活動と国際理解教育の推進を図った。（夜久野小中学校には専属で1名配置し、英会話コミュニケーション科の活動を支援した） <p><u>【実績】 H25 25,144,308 円 H26 30,091,824 円</u></p>
	<p>○指定校研究事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府教育委員会指定を受けた学校が研究主題に応じた活動を推進するための取り組みを行った。 <p>学力向上システム開発校 雀部小学校・六人部中学校 土曜日を活用した教育の在り方実践研究指定校 成仁小学校・成和中学校</p> <p><u>【実績】 H25 393,787 円 H26 498,100 円</u></p>
	<p>○グローバル人材育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の特例校の指定を受けて、夜久野小中学校が取組んだ英会話コミュニケーション科の取り組みを支援した。 <p><u>【実績】 H26 414,440 円</u></p>
<p>○各種学力テスト等への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府学力診断テスト並びに全国学力学習状況調査（悉皆調査）に 	

<p>実施、取組 状況</p>	<p>協力・参加した。いずれも市平均値は全国・京都府平均以上であったが、応用・活用問題では課題も見られた。引き続き、学力向上のための取組や教員の授業改善に努める。</p> <p>○学校図書館機能充実事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの豊かな想像力を育て、確かな学力と生きる力を伸ばす、読書の大切さを再認識してもらうため、各中学校ブロックにブロック内の小中学校を兼務とする学校司書を1人ずつ、計9人配置した。 <p>【実績】 H26 5,837,006 円</p> <p>○教育活動指導援助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の学力向上と教職員の授業力を高めることを目的として、各種学校教育研究活動を実施した。 <p>また、8月豪雨災害の被災児童生徒に対して教科書や学用品の支給を行った。今年度から、特別支援学級に通う生活保護世帯の児童生徒に対して、通学支援を行った。</p> <p>社会科副読本大規模改訂及び1,800冊印刷製本・けやき賞表彰・災害見舞教科書学用品等支給・通学困難者支援等</p> <p>【実績】 H25 3,962,884 円 H26 5,347,651 円</p> <p>※災害見舞教科書学用品等支給</p> <p>平成25年9月に制定した「災害時における被災児童および生徒に対する学用品等支給要領」に基づき学用品を支給</p> <p>支援額 小学生：4,100円 中学生：4,400円</p> <p>教科書は、学用品とは別に、全額市費負担で購入し支給</p> <p>○幼稚園交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 全園児のふれあい交流の場を持つことで、一緒に活動することの楽しさを体験させることを目的として、市立幼稚園の園児が一堂に会する「園児のつどい」を実施した。 <p>【実績】 H25 133,499 円 H26 127,635 円</p> <p>○教育関係研究大会運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 府内各地域で実施されている京都府小学校教育研究会、京都府中学校教育研究会指定の教科・領域別研究のうち、小学校理科・中学校数学科の研究発表大会を開催した。 <p>11月21日 京都府小学校教育研究大会 昭和小学校 理科 11月19日 京都府中学校教育研究大会 南陵中学校 数学科</p> <p>【実績】 H25 70,000 円 H26 140,000 円</p>
---------------------	--

<p>実施、取組 状況</p>	<p>○中丹地区教科用図書採択委員会負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校で使用される教科書が4年ごとに改訂されることから、平成27年度以降に中丹地区で使用する教科書を選定した。 <p><u>【実績】 H26 53,700 円</u></p> <p>【教育総務課】</p> <p>○私立幼稚園就園就励費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園へ子どもを通園させている保護者の経済的負担の軽減を図るため、就園奨励費を支給した。 <p><u>【実績】 H25 19,760,800 円 H26 27,118,000 円</u></p> <p>○私立幼稚園補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園に対する運営費補助金を交付した。 <p><u>【実績】 H25 244,000 円 H26 244,000 円</u></p> <p>○幼稚園入園支度金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済的理由により入園の支度が困難な者へ支給した。 <p><u>【実績】 H25 60,000 円 H26 48,000 円</u></p> <p>○幼稚園一般管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園管理に要する経費を支出した。 <p><u>【実績】 H25 28,029,516 円 H26 23,026,550 円</u></p>
---------------------	--

<p>施策方針</p>	<p>一人一人を大切にし、個性や能力を伸ばす教育の推進</p>
<p>項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路指導 人間としての在り方・生き方にかかわる指導を基盤にガイダンスの機能を生かし、それぞれの段階に応じたキャリア教育を通して、児童生徒一人一人の目的意識を高め、自らの進路を主体的に切り拓く能力や態度を育成するとともに、校種間の連携を強め、組織的・計画的・継続的な進路指導を進める。 ・ 特別支援教育 発達障害を含む障害のある幼児児童生徒一人一人を大切にされた教育を行い、自立や社会参加を目指し、就学前から就労に至るまでの一貫した特別支援教育を推進する。 ・ 過少規模小学校や複式形態の特性を活かした教育 へき地及び過小規模学校の特性を活かした教育課程を編成して、学力の充実・向上に努めるとともに、豊かな表現力・社会性及びたくましい実践力を身に付けた児童生徒の育成に努める。
<p>実施、取組状況</p>	<p>【学校教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ KYO発見 仕事・文化体験活動推進事業 ・個性や能力を伸ばすため、勤労や職業に関する知識を身につけるための体験活動を行う取組に必要な経費を補助する。 【実績】 H25 1,273,900円 H26 1,262,420円 ○ 特別支援教育推進事業 ・発達障害等のある子どもの生涯にわたる一貫した支援システムの構築を図った。また福知山市就学前発達支援事業“のびのび福知っ子”の柱の一つである就学前スクリーニングや、小5と中1を対象とした思春期スクリーニングを実施し、発達障害等の早期発見・早期支援を実施した。 【実績】 H25 980,030円 H26 962,204円 ○ 就学指導事業 ・対象児童生徒の適切な就・修学のため、専門家による相談・指導体制を充実し、個別の支援計画の作成や、特別支援学級等入級にあたっての個別指導、特別支援教育啓発講演会・研修会、特別支援学級校外学習会等を開催し、適切な就学指導を行った。 【実績】 H25 1,490,875円 H26 2,404,331円 ○ 小中学校就学援助事業・特別支援就学奨励事業 ・就学援助事業

<p>施策方針</p>	<p>豊かな人間性と社会性をはぐくむ教育の推進</p>
<p>項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳教育 道徳教育は、道徳教育推進教師を中心とした校内体制の充実のもと、道徳の時間を要とし、学校の教育活動全体を通じて行う。幼児または児童生徒の発達段階を考慮して、効果的な資料や豊かな体験活動を活かし、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度の育成に努める。 ・ 人権教育 同和教育の成果と手法の評価を踏まえ、児童生徒の実態を的確に把握して、学力の充実・向上や進路保障に努める。また、基本的人権を尊重する精神を養い、同和問題、女性、子ども、高齢者、障害のある人、外国籍の人などに対する差別や人権侵害など、様々な人権問題を自分自身の問題として捉え、主体的に解決を図る意欲と実践力を持った児童生徒を育成する。 ・ 生徒指導 幼児・児童生徒における問題事象や不登校の状況から、校内指導体制をさらに強化するとともに、教育活動全体を通じてガイダンスの機能の充実を図り、幼児児童生徒の個性の伸長と社会的資質・能力・態度の育成に努め、よりよい人格の形成を促す。
<p>実施、取組状況</p>	<p>【学校教育課】</p> <p>○心の安定基地づくり推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校総合対策事業として、不登校児童生徒が通う、適応指導教室「けやき広場」の運営、並びに早期対応のための訪問指導員（4人）や訪問専門指導員（1人）の配置を行うと共に、教育にかかる保護者等からの相談に教育相談室の臨床心理士等が対応して、適切な支援を行った。 <p>【実績】本市不登校出現率 小学校 0.36^{パーセント}（25年度 0.33^{パーセント}） 中学校 1.86^{パーセント}（25年度 1.98^{パーセント}）</p> <p><u>H25 7,475,940円 H26 7,161,953円</u></p> <p>○いじめ根絶対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いじめを根絶するため、ふくちやまCAPによる人権ワークショップ（24～26年度の3ヵ年計画）を小学校の児童や保護者等を対象に行い、いじめや虐待から自分の大切な命と体を守るために、どのように行動すればよいかを学ぶと共に、いじめ防止講演会を開催した。 <p><u>【実績】 H25 725,576円 H26 672,948円</u></p>

実施、取組 状況	<p>○小学校移動教室事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集団での市内宿泊生活や活動をとおして、基本的な生活習慣や道徳心の育成を図った。 <p><u>【実績】 H25 2,114,286 円 (5 校) H26 2,108,015 円 (5 校)</u></p> <p>○スクールカウンセラー活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 京都府事業により、小中学校に配置しているスクールカウンセラーの活動にかかって必要な電話の通話料金を支出した。 <p><u>【実績】 H25 290,033 円 H26 293,810 円</u></p> <p>○入学一時金支給事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経済的理由により就学が困難な高校生や大学生等に学資を支給し、社会発展に寄与できる人材の育成を目指すことを目的に入学一時金を支給した。 <p><u>【実績】 H25 40 人・1,950,000 円 H26 56 人 1,655,000 円</u></p> <p>○人材育成支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あらゆる人権問題の早期解決を担う人材を育成するため、公的奨学金の受給者に対し、学資の一部を支給すると共に人権学習会に参加してもらい自己研鑽を図る。 <p><u>【実績】 H25 2,477,065 円 (99 人) H26 2,819,640 円(117 人)</u></p> <p>○人権教育研修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 京都府他、各種人権研修に教職員を派遣し、スキルアップを図った。 <p><u>【実績】 H25 392,360 円 H26 408,360 円</u></p> <p>○仮称・教育支援センター整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校傾向の児童生徒が通う適応指導教室「けやき広場」と教育相談室の機能充実を図り、安心安全な居場所づくりを行うため、現施設の改修・耐震工事の実施設計の委託を行った。 <p><u>【実績】 H26 4,741,200 円</u></p> <p>○学校音楽祭事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市立小中学校の児童生徒が一堂に会し、合唱や器楽演奏の学習成果を発表したり、鑑賞したりすることにより、豊かな情操を培うことを目的に学校音楽祭を開催した。 <p>第45回学校音楽祭（場所：福知山市厚生会館） 期日：平成26年11月12日（水）小学校の部</p>
-------------	---

<p>実施、取組 状況</p>	<p style="text-align: center;">平成 26 年 11 月 13 日（木）中学校の部</p> <p style="text-align: center;"><u>【実績】 H25 1,611,734 円 H26 2,635,279 円</u></p> <p>○学校（園）美術展事業</p> <p>・福知山市立幼稚園、小・中学校の園児、児童生徒が図画工作・美術、毛筆書写の日頃の成果を発表し合い、技術の向上を目指すことを目的として学校美術展を開催した。</p> <p style="padding-left: 2em;">第 50 回学校（園）美術展</p> <p style="padding-left: 4em;">期日：平成 26 年 10 月 18 日（土）～10 月 20 日（月）</p> <p style="padding-left: 4em;">場所：福知山市厚生会館</p> <p style="text-align: center;"><u>【実績】 H25 599,715 円 H26 545,417 円</u></p> <p>○第 50 回学校（園）美術展記念事業</p> <p>・今回のみ、第 50 回記念事業として、学校（園）美術展において下記の事業を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①福知山にゆかりのある松本零士氏の「銀河鉄道 999」や「宇宙戦艦ヤマト」等の原画やサイン色紙の展示 ②松本零士氏からいただいた自分の生い立ちや子どもたちへのメッセージ等のビデオレターの上映 ③教育委員会賞の絵画・書を掲載した記念クリアファイルを作成し全児童生徒・全教職員に配付 ④展示された作品や特別展示等の鑑賞を、学校の授業として実施希望された学校に対して送迎バスを特別運行 ⑤教育委員会賞を増やすとともに、記念の盾をメダルに変更
---------------------	---

<p>施策方針</p>	<p>健やかな身体をはぐくむ教育の推進</p>
<p>項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育、スポーツ、芸術文化活動 体育・スポーツ活動や芸術文化活動への興味・関心を育て、積極的に活動に参加させ、自己の個性や能力を最大限に発揮する態度を育て、生涯にわたって豊かに生きる力を育成する。 ・ 健康安全教育 生涯を通じて心身ともに健康で安全な生活を主体的に実践する幼児児童生徒の育成に努める。そのため、健康安全に関する活動を充実し、家庭・地域社会・関係機関との連携を図り、健康安全教育を組織的・計画的・継続的に進める。
<p>実施、取組状況</p>	<p>【学校教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体育・文化振興事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒が大会に安全に参加できるようにスクールバス運行を行った。 <u>【実績】 H25 1,960,587円 H26 1,835,019円</u> ・ 3競技(陸上・柔道・スキー)において近畿大会への出場があった。 ・ 2競技(陸上・柔道)において全国大会への出場があった。 ○ 子ども安全対策事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園・小学校・中学校に学校安全支援補助金を交付した。 ・ 子ども安全対策連絡協議会では、総会や子ども地域安全セミナーを開催し、子どもの安全を守るための活動をした。 <u>【実績】 H25 1,524,750円 H26 1,634,122円</u> ○ 学校保健事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校保健研究大会等を開催した。215名の参加があった。 ・ 小・中体育連盟負担金、学校保健会補助金の支給を行った。 <u>【実績】 H25 1,335,650円 H26 1,406,358円</u> ○ 中学校自転車通学助成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車通学費は4中学校で20人に支給した。 ・ 自転車ヘルメット補助(一般)は5中学校で104人に支給した。 ・ 自転車ヘルメット補助(要・準)は4中学校で24人に支給した。 <u>【実績】 H25 370,100円 H26 338,000円</u>

<p>実施、取組 状況</p>	<p>○健康管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断等を実施した。 ・就学时健康診断を実施した。 <p>○小学校遠距離通学費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1小学校で2人に支給した。(細見小) <p>【実績】 H25 41,040円 H26 61,560円</p> <p>○実践的防災教育総合支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災センターでの体験学習。7回実施。416名参加 <p>【実績】 H25 490,076円 H26 85,872円</p> <p>○スーパー食育スクール事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日新中学校全校生徒の貧血・骨密度検査を実施し、食育による改善を図った。 ・食育に係る朝食レシピの作成 <p>【実績】 H26 2,762,903円</p> <p>【学校給食センター】</p> <p>○学校給食管理運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福知山・夜久野・大江の各学校給食センターから小学校24校、中学校9計33校に配送した。 (米飯給食週4回、パン給食週1回) ・8月豪雨災害で被災した福知山センターは約1月間給食を停止した。 給食実施回数 福知山センター158回・夜久野センター168回・大江センター 179回 <p>○学校給食センター災害復旧事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月豪雨災害で被災した福知山センターの給食配送車等を修繕した。
---------------------	---

施策方針	社会の変化に対応する教育の推進
項 目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境教育 身近な環境や環境問題に関心を持ち、人間と環境とのかかわりについて理解を深め、自ら考え環境に働きかける実践的態度や能力の育成に努める。 ・ 情報教育 社会の高度情報化に伴い、児童生徒の発達段階に応じ、「情報活用の実践力」「情報の科学的な理解」「情報社会に参画する態度」の観点から情報活用能力の育成に努める。特に情報の価値についての認識を高めるとともに、情報モラルに関する指導の充実に努める。 ・ 国際理解教育 グローバル社会に主体的に生きる国際感覚をそなえた日本人として、人権尊重の精神を基盤にして、我が国及び諸外国の文化と伝統などを尊重するとともに、異文化を理解し尊重する態度や異なる文化を持った人々と共に生きていく資質や態度を育成する。・ 環境教育
実施、取組状況	<p>【学校教育課】</p> <p>○国際理解教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7人のAETを小中学校に配置し、授業を中心としたコミュニケーションにより、国際理解を深めた。

施策方針	魅力ある学校・園づくりと教職員の資質能力の向上
項 目	<p>教職員は、公教育に課せられた使命と責任を自覚し、市民の信託と期待に応えるため、自ら心身の健康管理に留意し、豊かな人間性、広い社会性、高い専門性を身に付ける研修を積極的に進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校、園経営 ・ 教職員の使命と責任 ・ 教職員研修
実施、取組状況	<p>【学校教育課】</p> <p>○学校評価の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ すべての学校において学校評価を公表した。 <p>○学校運営協議会設置校の指定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 美河小学校を学校運営協議会設置校として指定。保護者や地域住民の協力により学校運営の改善を図った。

<p>実施、取組 状況</p>	<p>○教育実践論文「けやき賞」の募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の資質向上を図るため、けやき賞を募集すると共に、学校教育フェスティバルにおいて、南陵・夜久野ブロックの取組を中心に「けやき賞」の発表を行い、本市学校教育について保護者への啓発を行った。 <p><u>【実績】 応募数 H25 5点 H26 5点</u></p> <p>○市学校教育振興会活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市学校教育振興会の教職員研修等の取組を支援した。
---------------------	--

<p>施策方針</p>	<p>生涯学習社会の実現</p>
<p>項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習の推進 市民が心豊かで充実した生きがいのある生活を送るために、生涯学習社会に対応して、いつでも、誰でも、どこでも、楽しく学べるように多様な方法で学習活動を推進する。主体的に学び自己実現を図りつつ、学習活動で得た成果を活かして、現代的課題や地域課題の解決に取り組める人づくりや活力あるコミュニティづくりを推進する。 ・ 公民館活動の推進 市立公民館は地域の生涯学習を推進する社会教育施設として、地域の活性化に重要な役割を果たすことから、基本的人権の尊重を基盤として、誰もが生涯にわたりあらゆる機会に、市民文化・教養・人権学習に関する各種事業を行うとともに、学校、家庭及び地域社会との連携等を行い、次代を担う子どもたちの育成をはじめとした現代的課題や地域課題を共有し、これらの課題解決に向けた実践につながる活動の展開に努める。 ・ 図書館活動の推進 市民の生活、学習、文化を育む拠点施設として開館した新図書館中央館において、図書館サービスの充実と、福知山駅周辺を舞台に人と情報が出会い、交流する「まちと人、人と人をつなぐ」交流空間を創造する。また、国際化、高度情報化など社会情勢の変化に伴い、利用者のニーズも多様化している中で、豊富な知識と情報を提供し、市民の暮らしや学習、創作活動を援助するため、身近な生涯学習施設として、図書館サービスの充実に努める。

<p>実施、取組 状況</p>	<p>【生涯学習課】</p> <p>○生涯学習まちづくり出前講座 市民の団体等が主催する学習会に市職員等が講師となり出向き、市民の生涯学習活動の推進を図った。(29講座 参加者数772人)</p> <p>○生涯学習推進啓発事業 生涯学習全般にわたる25年度の取組みをまとめた冊子(『平成25年度社会教育のまとめ』)を220部作成し、活動の充実と事業の啓発を図るため関係機関に配布した。</p> <p>○夜久野町生涯学習センター事業 市民の生涯学習の推進と研修及び成果発表の場としてセンターの管理運営を行った。(利用者目標16,000人→利用実績16,893人)</p> <p>【中央公民館】</p> <p>○中央・地域公民館講座等開設事業 講座の開催人権研修、地域交流などの活動を行い、地域の生涯学習を推進する社会教育の拠点施設として講座や公民館まつり等を開催し、地域住民等への生涯学習の推進を図った。 【実績】 事業費総額H25 2,264,871円→H26 2,638,990円</p> <p>○地区公民館育成事業 地区公民館に対し、事業負担金及び館長・主事手当てを支出し、支援した。 【実績】 事業費総額H25 11,574,050円→H26 11,697,900円</p> <p>○公民館連絡会・連絡協議会 連絡会と主事会を毎月1回開催し、各回で研究テーマを設定し、意見交換や調査研究に努め、各公民館相互の連携を図った。 公民館連絡会・主事会：各11回。連絡協議会：2回</p> <p>○高齢者ボランティア活動推進事業 市民の深い意識と経験を活用するための「市立公民館人材銀行」への登録と積極的な取り組みの推進を図ることにより自ら企画・運営する自主講座の開設等の拡大につなげた。 【実績】 事業費総額H25 69,000円→H26 90,000円</p>
---------------------	--

実施、取組
状況

○旧市民会館管理事業

旧市民会館を8月豪雨災害の被災家屋調査の事務室、その後は耐震改修工事中の施設維持管理経費。

【実績】事業費総額 H26 4,875,351 円

○公民館施設の整備・改修

各公民館施設も経年劣化が進み老朽化が著しく、活動運営に支障をきたしている状態にある。予算の範囲で優先順位をつけて修繕、改修に努めた。

【実績】事業費総額H25 4,017,300 円→H26 12,187,673 円

○公民館活動研修事業

市外の公民館と交流し、専門性の向上を図った。

【実績】事業費総額H25 172,872 円→H26 121,859 円

○大江町総合会館災害復旧事業

平成25年の台風18号により被災した大江町総合会館の災害復旧工事の繰越事業で、電動式移動観覧席整備復旧工事を行い、機能の回復ができた。

【実績】事業費総額H25 26,787,046 円→H26 11,286,000 円

○大江支所施設改修事業

大江支所及び大江総合会館の屋上に防水シートを張る防水改修工事を施工した。

【実績】事業費総額H26 2,457,127 円

○市民交流プラザふくちやま管理運営事業

平成26年4月21日プレオープンした市民交流プラザの施設設備の管理運営を適正に行った。

【実績】事業費総額H26 59,345,576 円

【図書館】

○資料収集整理事業

・図書館資料（図書、新聞、雑誌等）を購入し、利用者へ提供するとともに、オンラインデータベースの導入を行った。

- ・ 図書 14,112 点、DVD（視聴覚資料）36 点、
CD（視聴覚資料）19 点、雑誌 186 種、新聞 15 紙
- ・ データベース 新聞・法令・官報・レファレンス

<p>実施、取組 状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○中央館、三和・夜久野・大江分館運営事業 <ul style="list-style-type: none"> ・臨時職員の雇用や図書館システムの使用、移動図書館を実施し、安定した図書館サービスを提供し、市民の学習や文化活動を促進した。 ○読書活動支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・市民に学習の機会を提供し、読書活動の普及・図書館活動への理解と利用促進を図った。 ○佐藤八重子記念積立事業 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書活動の振興に関する寄附金を受け入れ、基金として積み立てた。 ○「(仮称) 市民交流プラザふくちやま」図書館システム・設備等整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・新図書館中央館における自動貸出機など新たなシステムの整備を行った。 ○「市民交流プラザふくちやま」新図書館移転事業 <ul style="list-style-type: none"> ・新図書館中央館の開館に伴い、資料等の移転を行った。 ○新図書館オープン記念事業 <ul style="list-style-type: none"> ・新図書館中央館のオープンを記念して、図書館活動の振興にご尽力をいただいた方を招いて記念式典を行い、新図書館の開館を市民とともに祝った。また、開館を記念したイベントを開催し、新中央館の周知と利用促進を図った。
---------------------	---

<p>施策方針</p>	<p>共に幸せを生きる社会の実現</p>
<p>項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人権教育の推進 <p>「福知山市人権施策推進計画」並びに「福知山市人権教育実施方針」及び「福知山市男女共同参画推進条例」、「福知山市新障害者計画」に基づき、人間の尊厳が守られ、様々な人権問題の解決に向けて、市民が主体となって「共に幸せを生きる」共生社会の実現を図る人権教育を推進する。</p> ・ 成人教育の推進 <p>現代社会の中で、成人の果たすべき役割は極めて重要であることから、市民の社会的責任の自覚を促すとともにモラルの向上を図り、連帯と協調の成果があがるよう成人の学習活動の推進に努める。また、</p>

<p>項 目</p>	<p>福知山市男女共同参画推進条例の基本理念に基づき、男女が互いにその人権を尊重し、共に自分らしく生きられる男女共同参画社会の実現を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者教育の推進 高齡者が家庭や地域で尊重され、いきいきと充実した生活を実感できる社会の実現に努めるとともに、高齡者の学ぶ意欲、活動する意欲に応えるため学習活動の機会や社会参加の促進を図る。 ・ 障害者教育の推進 「福知山市新障害者計画」を踏まえ、障害のある人が社会の一員として充実した社会生活を営めるよう、学習機会の充実を図るとともに市民が障害と障害のある人に対する正しい理解と認識を深め、障害のある人と共に生きる社会を目指す学習活動の推進に努める。
<p>実施、取組状況</p>	<p>【生涯学習課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 共に幸せを生きるまちづくり人権講座事業 「共に幸せを生きる」共生社会の実現に向け、人権の大切さについて講演会や研修会を地域公民館、各小中学校等で開催し、一人ひとりが様々な人権問題を正しく理解すると共に、一人ひとりがかけがえない存在であることを認識し、人権を尊重した誰もが生きやすいまちづくりのための人権教育の推進を図った。 【実績】 参加者 H26 3,340人 H25 3,453人) ○ 差別を許さない人材育成事業 子どもたちと共に人権の大切さを学び、考え、行動することを目的とし、あらゆる差別を許さない人材の育成を目指して活動を行った。 大人会員 21名（うち協力機関4名） 子ども会員 50名（小学生32名、中学生18名） サポーター 2名（STAR子ども会員卒業高校生） 大人会員の資質向上を目指した研修を行なうとともに、子ども会員の研修として、自分たちで事業の取り組みを決めたり、行事スタッフとして活躍したりする中で、自ら人権について考え、行動できる人材の育成に取り組んだ。 ○ 沖縄人権文化体験研修事業 「福知山市人権施策推進計画」及び「差別を許さない人材育成基本計画」に基づき、日本で最大の地上戦が行われた沖縄を訪れ、沖縄の歴史や文化、そして沖縄戦の実相に触れることで、戦争の悲惨さと平和の尊さを学び、また、ハンセン病療養所を訪問し、ハンセン病問題について人権の視点から学んだ。自ら学んだことを人権啓発リーダーとして、学校、地域や家庭で活動できる人材の育成を図った。

<p>実施、取組 状況</p>	<p>(高校生 6 名参加)</p> <p>○公民館・企業人権教育講座事業 地区公民館や企業などが主体となり、地域や企業の実態に即した人権学習を実施し、人権意識を高めると共に市民が主体となって「共に幸せを生きる」共生社会の実現を推進する支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発ビデオ解説パンフレットの作成 ・人権啓発ビデオ教材の購入 ・巡回講座用機材（プロジェクター）の購入 <p>○人権教育・人権啓発補助事業 社会教育関係団体及び市民団体グループ等が、自主的に人権問題の解決に向けて取り組む、人権教育活動・啓発活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育・啓発活動推進事業運営補助金 社会教育団体、市民グループ等 12 団体 ※ヒューマンジュニアプラン補助金は事業見直しにより補助率が同じになったことから、上限額が大きい人権啓発補助金を優先してお勧めしたことで利用なし（H27 年度で統合） ・企業人権教育・啓発活動推進事業運営補助金 福知山市企業人権教育推進協議会(加盟企業 99 社) 新入社員・トップ・人権担当者を対象とした研修会、女性問題をテーマとした研修会を実施すると共に、人権ビデオの巡回研修を実施し、人権問題を正しく理解し、人権が尊重される職場環境への啓発と人材の育成を推進した。 <p>○教育集会所管理事業 基本的人権尊重の精神に基づき、あらゆる人権問題の解決に向けて、人権教育・啓発活動、文化活動、住民交流活動を推進するため設置した 15 教育集会所を管理している。人権学習を推進し、差別を許さない人材の育成と文化環境の充実を図るため施設を運営した。</p> <p>○教育集会所学習活動事業 基本的人権尊重の精神に基づき、あらゆる人権問題の解決に向けて、人権教育・啓発活動、文化活動、住民交流活動などを実施した。</p> <p>【実績】 H26 参加者 5,598 人 H25 参加者 6,783 人</p> <p>○人権の輪つながり広がり事業 人権リーダーとして活躍する人材の育成するため、広島・長崎・沖縄への人権研修参加者と STAR 子ども会員の中・高校生、各児童館の学</p>
---------------------	---

<p>実施、取組 状況</p>	<p>習クラブの中学生たちをつなぎ、学習内容の共有を図るとともに、人権ワークショップ等の学習活動を通じて、互いに刺激し合い助け合う仲間づくりをすすめた。</p> <p><u>【実績】 H26 参加者 31人 ※H26 新規事業</u></p> <p>○婦人教育事業 福知山市連合婦人会を母体として、男女共同参画社会の実現と活力ある地域社会づくりを目指して、幅広い分野での学習・実践を進めた。 (参加者目標 1,500人 → 参加実績 741人)</p> <p>○障害者青年学級事業 学級生の社会参加と仲間との交流の機会を提供し、明日への意欲と希望を見出す機会となった。 (講座開催回数目標 12回 → 開催実績 11回)</p> <p>○障害者成人講座事業 聴覚と視覚の障害を対象に、それぞれ健康教室や講座などを開催し、自ら進んで社会参画できる学習の場を提供した。 (講座開催回数目標 7回 → 開催実績 7回)</p>
---------------------	---

<p>施策方針</p>	<p>家庭・地域社会の教育力の向上</p>
<p>項目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育の推進 家庭は、あたたかい愛情を基盤に子どもの育成と自立を支える重要な役割と責任を担っており、人間形成の基礎を養う場であるとともに、すべての教育の出発点である。生命を大切にする心や思いやりの心など、豊かな心を育む家庭・地域づくりのための学習活動を推進し、家庭の教育力を高めるため、子どもの発達段階に応じた必要な学習活動を推進する。 ・青少年教育の推進 地域総がかりで次代の福知山を担う「生きる力」を備えた子どもの育成を目指して、家庭・地域社会・学校・関係機関が連携を密にして、集団生活や社会参加を通じ豊かな心をはぐくみ、人権尊重の精神や社会の一員として、自立していくための基礎を養う学習活動の推進を図る。 ・地域社会の教育力向上を目指す活動 家庭・地域社会・学校が連携・協力しながら、市民総ぐるみで地域社会の教育力を高め、人々の絆を強める必要がある。新しい時代を切

<p>項 目</p>	<p>り拓く力のあるたくましい青少年を育成することや、子どもの安心・安全な活動の場をつくることの重要性について地域住民に共通理解を求める中で、地域社会の教育力の向上を図る。</p>
<p>実施、取組 状況</p>	<p>【生涯学習課】</p> <p>○平成こだま教育推進事業 各地区公民館を対象とした「青少年思いやり地域活動事業」を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子ふれあい活動や美化作業などの体験事業を30公民館で、のべ882時間実施した。 ・掲示教育(まちかど黒板)で市内358箇所の掲示文を月2回更新した。 ・「家族だんらん」の作品集を33,000部作成し全戸配布した。 <p>○PTA連絡協議会共催事業 「育もう笑顔と思いやりの心・高めよう協調と意識の高揚」を基本テーマにPTA連絡協議会共催事業を11事業開催し、1,373人の参加があった。市立幼稚園PTA連絡協議会共催事業は研修会等5回の事業を開催し、62人の参加があった。</p> <p>○青少年健全育成事業 青少年健全育成大会の開催や青少年健全育成協議会や子ども会への活動補助金の交付や各地区青少年育成協議会の活動と子ども大会を開催した。青少年健全育成大会は大江町総合会館ホールで開催し、181人の参加があった。また、子ども大会は4,000人の参加があった。</p> <p>○放課後児童クラブ運営事業 中六人部小学校を除く23小学校区19箇所で実施した。【市直営：12箇所（惇明・昭和・大正・雀部・庵我・修斉・遷喬・下六人部・成仁・三和・夜久野・大江）、委託運営：1箇所（上豊富）、補助運営：6箇所（天津・上六人部・上川口・佐賀・三岳・金谷）】 常時は3年生まで、長期休業中は4年生まで受け入れ、施設に余裕のあるクラブ（三和・夜久野・大江・天津・上六人部・上川口・佐賀・三岳・金谷）は、常時・長期休業中ともに6年生まで受け入れた。 平成26年4月より上豊富で6年生までの受け入れ拡大を行った。</p>

<p>実施、取組 状況</p>	<p>○成人式事業 人生の大きな節目を祝うとともに、社会人としての自覚を促すため、成人式を開催し、平成27年成人式は643人（該当者の79.6%）が出席した。</p> <p>○公誠子ども教室事業 平成26年度は14人が在籍し、地域のみなさんの協力を得て、年間207日開室し、のべ1,668人の参加があった。</p> <p>○少年補導センター事業 少年補導委員による巡回指導等により、青少年の非行防止と健全な生活を確保し、誰もが安全安心に暮らせる地域づくりを図った。平成26年度は、年間314回、のべ994人が補導活動に参加し、旧市域では63回の注意・助言をおこなった。</p> <p>○心の教育実践活動事業 各中学校ブロック（10ブロック）の「心の教育」実践活動実行委員会により、あいさつ運動や家族だんらんの日の啓発、地域と学校が連携した異年齢による青少年の体験活動を実施し、22,681人の参加があった。</p>
---------------------	---

<p>施策方針</p>	<p>文化・文化財保護の推進</p>
<p>項目</p>	<p>・文化・文化財保護の推進 文化・文化財は、本市の歴史や文化を理解する上で欠くことのできないものであり、先人の遺した貴重な文化遺産を保護・伝承し、保存・活用していくことは、市民のふるさと意識の醸成や個性的で魅力ある人づくり、まちづくり、あるいは心や生活にうるおいをもたらす重要な役割を果たすものである。この大切な文化遺産を後世に伝えるために積極的な保護・保全を図り、地域振興の有効な資源とするとともに、市民共有の財産として継承していくため、文化財所有者などの関係者だけでなく、保存・保護に携わる多様な担い手の育成、ふるさとを愛する心をはぐくむ学習資料として有効な活用を図る。</p>
<p>実施、取組 状況</p>	<p>【生涯学習課】 ○有形・無形文化財の保存・修理・調査 木造男神坐像（一ノ宮 市指定）をはじめ、計4件の文化財について現状を確認し保存方法や修理の相談を行った。 文化財・文化資料保全のため、島田神社（畑中 国重要文化財）をはじ</p>

<p>実施、取組状況</p>	<p>め、計12件に対して文化財の修理・保全事業を行った。 永明寺十一面観音立像(牧 未指定)をはじめ、計7件の未指定文化財について資料収集のため、基礎的な調査を行った。</p> <p>○埋蔵文化財の保存・保護・調査 開発行為に伴う事前調整・相談・立会調査・試掘調査・発掘調査を行った。(年間件数：事前調整・相談は340件、立会調査・試掘調査は31件、発掘調査は2件)</p> <p>○文化財保護の啓発普及事業 「広報ふくちやま」での指定文化財の紹介、京都新聞への連載記事提供、市民向けの出前講座の実施、指定文化財説明看板の設置、図書館中央館での展示・解説、シンポジウムの開催などを行った。</p> <p>○資料館の運営及び展示・資料収集 夜久野町化石・郷土資料館、三和町郷土資料館、日本の鬼の交流博物館、真下飛泉資料室の運営を行うとともに、特別展の開催や貴重な資料の収集を行った。</p>
----------------	---

<p>施策方針</p>	<p>教育環境の整備・充実</p>
<p>実施、取組状況</p>	<p>【教育総務課】</p> <p>○小学校施設設備改修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天津小学校体育館防水改修工事 事業費：3,296千円 ・昭和小学校体育館排煙窓改修工事 事業費：1,242千円 ・大正小学校体育館排煙窓改修工事 事業費：4,104千円 ・惇明小学校特別教室棟屋上防水改修工事 事業費：9,558千円 ・公誠小学校遊具設置工事 事業費：2,019千円 ・細見小学校放送設備改修工事 事業費：5,529千円 ・その他施設整備事業 事業費：2,107千円 <p>○中学校施設設備改修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日新中学校教室棟4階便所改修工事 事業費：11,880千円 ・夜久野学園校舎・体育館玄関庇改修工事 事業費：3,186千円 ・桃映中学校放送設備改修工事 事業費：1,186千円 ・その他施設整備事業 事業費：7,806千円

実施、取組
状況

○小学校耐震改修事業（耐震化率 96.7%）	
・昭和小学校管理棟耐震改修工事	事業費：1,497千円
・美鈴小学校校舎等耐震改修工事	事業費：12,204千円
・惇明小学校管理棟詳細調査業務	事業費：41,990千円
○中学校耐震改修事業（耐震化率 97.3%）	
・日新中学校特別教室棟改築工事に伴う実施設計	事業費：12,344千円
・日新中学校体育館耐震改修工事	事業費：105,872千円
・桃映中学校体育館耐震改修工事	事業費：122,277千円
○幼稚園耐震改修事業（耐震化率 100.0%）	
・成仁幼稚園園舎耐震改修工事	事業費：777千円
・昭和幼稚園園舎耐震改修工事	事業費：1,404千円
○小学校施設空調設備設置事業（5年計画の2年目）	
・成仁小学校空調設備設置に係る実施設計業務	事業費：2,376千円
・佐賀小学校空調設備設置に係る実施設計業務	事業費：1,077千円
・遷喬小学校空調設備設置に係る実施設計業務	事業費：2,916千円
・雀部小学校空調設備設置に係る実施設計業務	事業費：2,674千円
・庵我小学校空調設備設置工事	事業費：19,469千円
・大正小学校空調設備設置工事	事業費：36,394千円
・昭和小学校空調設備設置工事	事業費：78,807千円
・惇明小学校空調設備設置工事	事業費：75,708千円
○幼稚園施設空調設備設置事業（5年計画の2年目）	
・幼稚園空調設備設置実施設計業務	事業費：2,592千円
○中学校施設空調設備設置事業（5年計画の2年目）	
・日新中学校空調設備設置に係る実施設計業務	事業費：2,721千円
・桃映中学校空調設備設置工事	事業費：14,008千円
・南陵中学校空調設備設置工事	事業費：39,970千円
・成和中学校空調設備設置工事	事業費：35,744千円
・夜久野中学校空調設備設置工事	事業費：15,012千円
○桃映中学校北校舎改築事業（25.26継続事業）	
・桃映中学校北校舎改築工事	事業費：217,187千円
・桃映中学校北校舎改築工事に伴う電気設備工事	事業費：40,194千円
○文教施設災害復旧事業	
・遷喬小学校グラウンド災害復旧工事	事業費：9,452千円

実施、取組 状況	・佐賀小学校グラウンド災害復旧工事	事業費：2,940千円
	・昭和幼稚園・昭和小学校グラウンド災害復旧工事	事業費：7,506千円
	・成和中学校グラウンド災害復旧工事	事業費：8,339千円
	・日新中学校敷地法面災害復旧工事	事業費：2,175千円
	・菟原小学校法面復旧工事	事業費：6,056千円
	○小学校スクールバス管理運行事業	事業費：25,208千円
	・金山、大江、公誠・夜久野地区におけるスクールバスの運行	
	○中学校スクールバス管理運行事業	事業費：10,652千円
	・夜久野町内におけるスクールバスの運行	
	○学校情報機器保守管理事業	事業費：4,107千円
	・授業用パソコン、校務ネットワーク用パソコン、ネットワーク用サーバー、財務会計端末用パソコン等の整備による保守	
	○私立高等学校補助金	事業費：1,256千円
	・私立高等学校の教育条件の維持・向上のため補助金を支出し支援した。	
○小学校管理一般管理事業	事業費：152,130千円	
・小学校管理に要する経費。		
○小学校教材備品購入事業	事業費：14,065千円	
・各校の児童が、教育内容を十分に理解するための補助用具として、教材備品を整備した。		
○小学校教師用教科書・指導書購入事業	事業費：8,132千円	
・小学校教師用教材の充実		
○小学校複式学級対応事務職員配置事業	事業費：2,571千円	
・府の設置基準に満たない事務職員の配置を市費で行った。		
○小学校学校図書整備事業	事業費：7,117千円	
・学校図書の充実を図った。 (学校図書館図書標準に対する充足率 76.6%→79.9%)		
○小学校教育振興費一般管理事業	事業費：51千円	
・小学校教育振興に資する経費。		

実施、取組 状況	○中学校管理一般管理事業	事業費：69,804 千円
	・中学校管理に要する経費。	
	○中学校教材備品購入事業	事業費：7,097 千円
	・各校の生徒が、教育内容を十分に理解するための補助用具として、教材備品を整備した。	
	○中学校教師用教科書・指導書購入事業	事業費：86 千円
	・教師用教科書・指導書を購入。	
	○中学校学校図書整備事業	事業費：5,526 千円
	・学校図書の充実を図った。 (学校図書館図書標準に対する充足率 71.7%→77.4%)	
	○中学校教育振興費一般管理事業	事業費：16 千円
	・中学校教育振興に関する経費。	
	○中学校特別支援教育環境整備事業	事業費：189 千円
・支援や配慮が必要な児童に対し、あらかじめ必要な環境を整えておくための整備費用。		
○小学校配膳室備品更新事業	事業費：738 千円	
・小学校給食で使用する米缶等の備品の更新		
○小学校教育用コンピュータ等更新事業	事業費：8,346 千円	
・小学校の I T 教室のコンピュータの買い替えと教育用ソフトウェア導入		
○小学校特別支援教育環境整備事業	事業費：287 千円	
・支援や配慮が必要な生徒に対し、あらかじめ必要な環境を整えておくための整備費用。		
○中学校配膳員配置事業	事業費：9,001 千円	
・旧福知山市内 6 中学校の給食開始に伴い、給食配膳員を配置（川口中学校を除く）		
○小学校敷地内危険木材伐採事業（新規）	事業費：3,045 千円	
・学校敷地内の樹木の老化に伴い、倒木の危険性が増しており、児童・近隣住民の安全・安心を確保する。		

実施、取組 状況	○中学校敷地内危険木材伐採事業（新規）	事業費：1,059千円
	・学校敷地内の樹木の老化に伴い、倒木の危険性が増しており、児童・近隣住民の安全・安心を確保する。	
	○幼稚園敷地内危険木材伐採事業（新規）	事業費：747千円
	・学校敷地内の樹木の老化に伴い、倒木の危険性が増しており、児童・近隣住民の安全・安心を確保する。	
	○小学校理科教育設備等整備事業（新規）	事業費：3,994千円
	・理科教育設備整備費等補助金を受けて実施。各校より要望物品をとりまとめ業者に発注・購入。 8校分（26年度から3年計画を予定）	
	○夜久野町旧3小学校用地整理事業（新規）	事業費：868千円
	・夜久野旧3小学校の用地の整理 売却、賃貸借を行うために、用地の整理を行うもの。	
	○夏季休業中プール利用支援事業（新規）	事業費：556千円
	・廃校等による地元プールの閉鎖に伴い、夏期休業中にプールに通えなくなった児童を救済する。	
○川合小学校統合準備事業（新規）	事業費：6,448千円	
・平成27年4月に川合小学校を細見小学校に統合する。 スムーズな移行のために、閉校、新体制開始の準備を行う。		
○三岳小学校統合準備事業（新規）	事業費：9,878千円	
・平成27年4月に三岳小学校を上川口小学校に統合する。 スムーズな移行のために、閉校、新体制開始の準備を行う。		
○中学校柔道用畳更新事業（新規）	事業費：1,313千円	
・経年劣化の柔道用畳を更新する		
○日新中学校体育教育施設借用事業（新規）	事業費：65千円	
・日新中学校で耐震改修工事を行うため、約半年間体育館の授業の使用ができなくなり、工事が終了するまで長田野体育館を借用する		
○日新中学校特別教室棟改築事業（26.27継続事業）（新規）		
・耐震改修により機能が損なわれる教室を改築し、教育環境の改善を図る。		

<p>施策方針</p>	<p>開かれた教育委員会の運営</p>
<p>実施、取組 状況</p>	<p>【教育総務課】</p> <p>○教育委員会運営事業 事業費：5,060 千円 ・教育委員会の運営に要する経費 定例教育委員会・臨時教育委員会・協議会・研修会の実施</p> <p>○教育委員会点検評価事業 事業費：30 千円 ・教育行政事務の点検評価を行うことで、市民の信頼を高め、開かれた教育行政を推進する。</p>

8 平成26年度の新規事業

事業名	小学校敷地内危険木材伐採事業	担当課	教育総務課
事業内容	<p>学校敷地内の樹木の老化に伴い、倒木の危険性が増しており、児童・近隣住民の安全・安心を確保する。</p>		
事業名	中学校敷地内危険木材伐採事業	担当課	教育総務課
事業内容	<p>学校敷地内の樹木の老化に伴い、倒木の危険性が増しており、生徒・近隣住民の安全・安心を確保する。</p>		
事業名	幼稚園敷地内危険木材伐採事業	担当課	教育総務課
事業内容	<p>園舎敷地内の樹木の老化に伴い、倒木の危険性が増しており、幼児・近隣住民の安全・安心を確保する。</p>		
事業名	小学校理科教育設備等整備事業	担当課	教育総務課
事業内容	<p>理科教育設備整備費等補助金を受けて実施。各校より要望物品をとりまとめ業者に発注・購入。 8校分（26年度から3年計画を予定）</p>		
事業名	夜久野町旧3小学校用地整理事業	担当課	教育総務課
事業内容	<p>夜久野旧3小学校の用地の整理売却、賃貸借を行うために、用地の整理を行うもの。</p>		
事業名	夏季休業中プール利用支援事業	担当課	教育総務課
事業内容	<p>廃校等による地元プールの閉鎖に伴い、夏期休業中にプールに通えなくなった児童を救済する。</p>		
事業名	川合小学校統合準備事業	担当課	教育総務課
事業内容	<p>平成27年4月に川合小学校を細見小学校に統合する。 スムーズな移行のために、閉校、新体制開始の準備を行う。</p>		
事業名	三岳小学校統合準備事業	担当課	教育総務課
事業内容	<p>平成27年4月に三岳小学校を上川口小学校に統合する。 スムーズな移行のために、閉校、新体制開始の準備を行う。</p>		

事業名	中学校柔道用畳更新事業	担当課	教育総務課
事業内容	経年劣化の柔道用畳を更新する		
事業名	日新中学校体育教育施設借用事業	担当課	教育総務課
事業内容	日新中学校で耐震改修工事を行うため、約半年間体育館の授業の使用ができなくなり、工事が終了するまで長田野体育館を借用する		
事業名	日新中学校特別教室棟改築事業	担当課	教育総務課
事業内容	耐震改修により機能が損なわれる教室を改築し、教育環境の改善を図る。		
事業名	スーパー食育スクール事業	担当課	学校教育課
事業内容	文部科学省の指定を日新中学校が受け、京都府からの委託により事業実施。生徒の食生活の質を高めることが、進路実現にどのように関わっているのかを、生徒の食への関心・体力テスト・貧血の状態や骨密度等検証することにより明らかにしていく。家庭とも連携し食事の質を高め、食育のさらなる充実を図った。		
事業名	中丹地区教科用図書採択委員会負担金	担当課	学校教育課
事業内容	小学校で使用される教科書が4年ごとに改訂されることから、平成27年度以降に中丹地区で使用する教科書を選定した。		
事業名	学校図書館機能充実事業	担当課	学校教育課
事業内容	子どもたちの豊かな想像力を育て、確かな学力と生きる力を伸ばし、読書の大切さを再認識してもらうため、各中学校ブロックに、ブロック内の小中学校を兼務とする学校司書を1人ずつ、計9人配置した。		
事業名	グローバル人材育成事業	担当課	学校教育課
事業内容	平成25年度に開校した夜久野小中学校が平成26年度、文部科学省から教育課程の特例校の指定を受け、英会話コミュニケーション科の取り組みを行うにあたって、支援を行った。		
事業名	仮称・教育支援センター整備事業	担当課	学校教育課
事業内容	不登校傾向の子どもが通う適応指導教室「けやき広場」と教育相談室を機能充実して整備するため、改修工事にかかる設計委託を行った。		

事業名	放課後児童クラブ運営事業	担当課	生涯学習課
事業内容	保護者が就労等の理由で昼間不在である子どもたちに対し、放課後や学校休業中に安心して生活する場所を提供するとともに子どもの健全育成を図る。		
事業名	旧勤労青少年ホーム施設管理事業	担当課	生涯学習課
事業内容	平成25年度をもってホームの運営事業を廃止し、施設管理業務のみとした。		
事業名	人権の輪つながり広がり事業	担当課	生涯学習課
事業内容	STAR子ども会員、広島・長崎・沖縄研修参加者、児童館学習会メンバー等、人権を学ぶ子ども達をつなぎ、人権リーダーとして活躍できる人材の育成を図る。		
事業名	ガンド遺跡発掘調査事業	担当課	生涯学習課
事業内容	大江町高津江における土砂採取にともなう石積遺構の発掘調査。		
事業名	地域公民館一般管理事業	担当課	中央公民館
事業内容	夜久野町小学校跡地管理事業により実施してきた旧小学校施設跡地の校庭及び校舎廻りの草刈り、明正小学校の体育館屋根改修を行う。		
事業名	北陵地域体育館バリアフリー化改修事業	担当課	中央公民館
事業内容	体育館出入り口にスロープを設置、昇降口及び男女トイレの段差を解消し手摺を設置、洋式トイレへの改修など施設のバリアフリー化を実施。		
事業名	川口地域体育館耐震補強改修事業	担当課	中央公民館
事業内容	昭和51年度に建設された体育館の耐震補強改修工事と外装改修工事を実施。		
事業名	交流プラザふくちやまオープン記念事業	担当課	中央公民館
事業内容	開館記念イベントを開催。		
事業名	市民交流プラザふくちやま管理運営事業	担当課	中央公民館
事業内容	プラザの管理運営経費。一括業務委託及び維持管理費用。		
事業名	「市民交流プラザふくちやま」新図書館移転事業	担当課	図書館
事業内容	新図書館中央館の開館に伴う資料等の移転に要する経費		
事業名	新図書館オープン記念事業	担当課	図書館
事業内容	新図書館オープン記念式典、記念講演会等に要する経費		

9 平成25年度をもって廃止した事業

事業名	栄養教諭を中核とした食育推進事業	担当課	学校教育課
事業廃止理由 スーパー食育スクール事業の指定を文科省より受けた為			
事業名	豊かな教育活動支援事業	担当課	学校教育課
事業廃止理由 中学校の給食が平成26年度には2年目となることで、給食推進員がいなくても学校現場での対応に問題はないと判断したため。 また、学校司書については、学校図書館機能充実事業として実施することにしたため。			
事業名	被災児童生徒学用品支援事業	担当課	学校教育課
事業廃止理由 被災された児童生徒の支援については、教育活動指導援助事業の中の1事業として実施することにしたため。			
事業名	スクールサポーター充実事業	担当課	学校教育課
事業廃止理由 緊急雇用創出事業の対象からはずれ、スクールサポーター配置事業でスクールサポーターの配置全てを対応することにしたため。			
事業名	勤労青少年ホーム耐震改修事業	担当課	生涯学習課
事業廃止理由 施設マネジメント計画の中で改修を中止した。			
事業名	勤労青少年ホーム運営事業	担当課	生涯学習課
事業廃止理由 施設転用のため、ホーム運営事業を廃止した。			
事業名	天然記念物等総合調査事業	担当課	生涯学習課
事業廃止理由 3ヵ年計画の調査が終了したため。			
事業名	(旧)松村家住宅保全事業	担当課	生涯学習課
事業廃止理由 府指定文化財の修理が終了したため。			
事業名	夜久野町化石・郷土資料館改修事業	担当課	生涯学習課
事業廃止理由 改修が終了したため。			
事業名	北陵地域体育館耐震改修事業	担当課	中央公民館
事業廃止理由 耐震改修工事が完了した。			

事業名	市民会館運営事業	担当課	中央公民館
事業廃止理由 市民交流プラザふくちやまの開館により、閉館した。			
事業名	市民交流プラザふくちやま図書館資料購入事業	担当課	図書館
事業廃止理由 新図書館中央館の開館に向けて、2カ年計画による資料整備を予定どおり完了したため			
事業名	図書館資料 I C タグ整備事業（繰越明許分）	担当課	図書館
事業廃止理由 新図書館中央館で導入する自動貸出機に対応するため、既存図書館資料（分館分含む）への I C タグの貼付及びデータ書込作業並びにシステムの L A N 配線工事が完了したため			
事業名	図書館大江分館災害復旧事業	担当課	図書館
事業廃止理由 平成 25 年の台風 18 号により被災した資料及び業務システム機器等の復旧整備を行い、平成 26 年 4 月 7 日に大江町総合会館 1 階で全面開館する運びとなったため			

10 おわりに

平成27年度の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（地教行法）」に基づく、福知山市教育委員会が行った教育に関する事務の点検・評価につきましては、学識経験者3名からの幅広い見地からの貴重な御意見をいただきながら、「平成26年度福知山市教育の重点」に示す学校教育の重点6項目及び社会教育の重点7項目の計13項目を中心に点検・評価を実施しました。

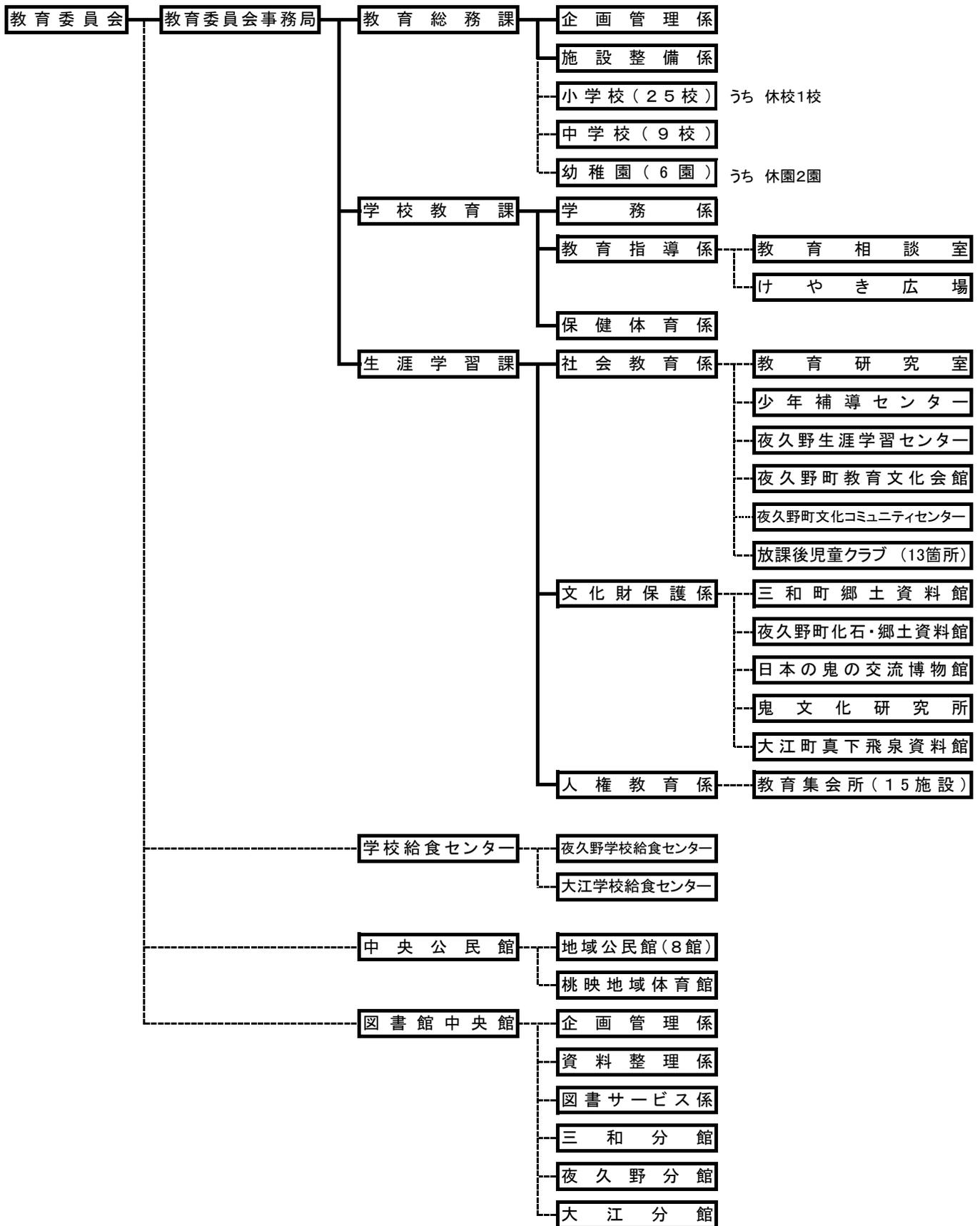
また、点検・評価に際しては、評価委員会での「評価の尺度と体系を確立すべきである」との議論を踏まえて、新たに評価の尺度と基準を定めてA・B・Cの3段階で評価しました。この13項目に関係する事業は、平成26年度事務事業140事業のうち55事業で、項目に対する評価は、2項目がA評価（計画以上の成果が得られた）、11項目をB評価（計画どおり目標は達成できた）とし、計画通り展開することができました。また、本報告にも記載していますが、より効果的な事務事業とするには、それぞれの項目には課題もありますので、更に点検・改善しながら進めてまいります。

この教育委員会教育事務に関する「点検・評価」については、その結果を議会に報告し公表することにより、教育委員会の責任体制の明確化を図るものとして、地教行法に義務づけられています。福知山市教育委員会といたしましても、毎年の事務事業の結果を点検・評価したうえで、その改善策を検討しこれを実行に移すという、いわゆるPDCAサイクルの過程を公表していくことは、教育委員会の果たすべき役割とその意義を、広く市民の皆様にご知っていただく絶好の機会であると捉えています。

今後もこの「点検・評価」により、自己の業務を振り返り更なる改善に努めるとともに、市民の皆様に対してより一層わかりやすく丁寧な説明を心がけ、市民の皆様とともに歩む教育行政の推進に取り組んでまいります。

1 1 資料

(1) 教育委員会組織機構図



(2) 教育委員会事務分担表

教育総務課	<p>委員会の議事及び秘書に関すること。 儀式及び表彰に関すること。 条例、規則等の制定、改廃等法制に関すること。 市費負担職員の人事、給与及び服務に関すること。 学校の設置、廃止及び認可に関すること。 学校施設の整備に関すること。 学校の教材、教具及び設備に関すること。 幼児の就園に関すること。 委員会の重要施策の総合調整及び統括に関すること。 委員会の予算の調整及び執行管理に関すること。 委員会の職員の研修及び能力開発に関すること。 委員会の主管事務に係る法制に関すること。 委員会の所管に係る財産管理の総括に関すること。 委員会の広報及び広聴に関すること。 分掌事務に係る教育行政に関する相談。 他課の主管に属しないこと。</p>
学校教育課	<p>府費負担教職員の人事、給与及び服務に関すること。 教職員の研修及び健康管理に関すること。 教職員の組織する職員団体に関すること。 学校教育の指導に関すること。 児童生徒の就学、その他学事に関すること。 高校生、大学生等の就学奨励及び修学奨励に関すること。 学校給食並びに学校保健体育及び安全に関すること。 分掌事務に係る教育行政に関する相談。 その他学校教育に関すること。</p>
生涯学習課	<p>生涯学習に関すること。 成人教育、青少年教育及び婦人教育に関すること。 人権教育に関すること。 社会教育施設の整備に関すること。 少年補導センターに関すること。 放課後児童クラブに関すること。 三岳青少年山の家に関すること。 文化財保護に関すること。 文化財施設の整備に関すること。 ユネスコ活動に関すること。 分掌事務に係る教育行政に関する相談。 その他社会教育に関すること。</p>
学校給食センター	<p>学校給食センターの管理運営に関すること。 給食数の把握及び調理食数の指示に関すること。 給食用食材料費の支出事務及び給食費会計決算事務に関すること。</p>
中央公民館	<p>公民館の管理運営に関すること。 公民館の育成に関すること。 公民館講座に関すること。</p>
図書館中央館	<p>図書館の管理運営に関すること。 図書資料の選定・管理に関すること。 移動図書館の運行管理に関すること。</p>

(3) 福知山市教育委員会事務点検及び評価実施要綱

平成23年3月30日
教育委員会告示第2号

(目的)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定により、福知山市教育委員会（以下「委員会」という。）の権限に属する事務の管理及び執行の状況について行う点検及び評価（以下「点検及び評価」という。）に関し、必要な事項を定め、もって効果的教育行政の推進に資するとともに、市民に対する行政の透明性の確保と説明責任を果たすことを目的とする。

(点検及び評価の対象)

第2条 点検及び評価の対象は、委員会の権限に属するもので、前年度に実施した事務とする。

(点検及び評価の実施)

第3条 前条に規定する事務について、所管する課等が点検及び評価表を作成する。

2 点検及び評価の方法並びに結果について、客観性及び透明性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者（以下「点検評価委員」という。）から意見を聴取する。

3 点検及び評価に関し必要があると認めたときは、会議に関係者の出席を求め、説明又は意見を求めることができる。

4 点検及び評価が終了したときは、速やかに当該結果を委員会に諮るものとする。

(点検評価委員)

第4条 点検評価委員は3人以内とし、委員会が委嘱するものとする。

2 任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、点検評価委員が欠けた場合は、前任者の残任期間において、新たな点検評価委員を委嘱するものとする。

(市議会への報告)

第5条 委員会は点検及び評価にかかる結果を市議会に報告し、かつ、公表するものとする。

(点検及び評価結果の活用)

第6条 委員会は、点検及び評価の結果を踏まえて、事業への取組、予算編成、事務事業の改善等に活用するものとする。

(庶務)

第7条 点検及び評価に関する庶務は、教育総務課において処理するものとする。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、点検及び評価の実施に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

この要綱は、平成25年12月1日から施行する。

平成27年度（平成26年度対象）
福知山市教育委員会点検・評価報告書
発行 平成28年 2月
編集 福知山市教育委員会

〒620-8501

京都府福知山市字内記13番地の1

TEL 0773-22-6111（代表）

FAX 0773-24-4880